

目次

CONTENTS

- I. ご挨拶…………… 1
- II. 平成26年度公開講座開設一覧…………… 2
- III. 平成26年度公開講座実施期間一覧表…………… 4
- IV. 受講手続き等について…………… 8
- V. 公開講座科目内容の紹介…………… 12
- VI. 各学部等で進められている大学開放…………… 53
- VII. 宇都宮大学までの交通…………… 65
- VIII. 宇都宮大学構内建物配置図…………… 66
- IX. 平成26年度カレンダー…………… 68

I

ご 挨拶

地域連携教育研究センター長
中島 望

今日の少子高齢化する社会において、地域への生涯学習機会として重要な役割を担っている大学公開講座は、今や全国で年間約3万講座が開講され、受講者数は約130万人を数えます。

平成3年に始まりました「宇都宮大学公開講座」は、今年で24回目を迎えます。「地域に学び、地域に返す、地域と大学の支え合い」をモットーに、「知の拠点」として地域への生涯学習機会の提供、社会人の再教育の場として地域連携を積極的に推進し、大学の第3の機能となります「社会貢献」の役割を担っています。

ところで、2012年の「敬老の日」に総務省がまとめた推計人口によりますと、65歳以上の高齢者人口は3074万人で過去最多となりました。いわゆる「団塊の世代」が60歳代を迎え、人口比に対して大きな割合を占める高齢者が、今後より豊かな生活を営む上で、大学公開講座は地域の生涯学習関連機関・団体と連携を図り、地域社会の発展に寄与することが期待されています。

さて、「一挨一拶、その深淺を見んと要す。」という禅の教えがございます。「挨・拶」には「迫る・押す」という意味があり、本来は禅問答によって相手の深淺を計ることを意味します。地域と結びつき、大学独自の講座として発展していくためにも、宇都宮大学公開講座は、より幅広い年齢層の受講者の皆様より、「一挨一拶」の機会を戴けることを切望して止みません。

Ⅱ
平成26年度公開講座開設一覧

	No.	公開講座名	担当講師	ページ
連携講座	1	共催 読売連携講座 “いま”を読み解くチカラ	宇都宮大学 教員 5名	12
	2	女性の力を企業の力に！	G&S Global Advisors Inc. 橋・フクシマ・咲江	13
	3	基盤教育特別公開講座	宇都宮大学長 進村 武男 他	14 15
	4	現地で学ぶ「宇都宮学」 城下町うつのみやの文化財を訪ねて	会長 上野 とも子 他6名	16
	5	図書館の達人 — 図書館に行ってみよう —	附属図書館 板橋 久夫	17
	6	アイヌ文化を学ぶ	札幌大学教授 本田 優子	18
	7	社会参加支援セミナー	地域連携教育研究センター 教授 廣瀬 隆人 准教授 佐々木 英和	19
	8	宇都宮城と蓮池 — 中世のハスの再生 —	教育学部教授 松居 誠一郎 他4名	20
国際理解・外国語	9	韓国料理入門 — 韓国料理を通じて韓国語に触れよう —	韓国料理研究家 金 学英	21
	10	韓国伝統料理 — 行事食から韓国文化への造詣を深める —	韓国料理研究家 金 学英	22
	11	タイ料理入門 — タイ料理の特徴を知り、食材を親しむ —	タイ料理研究家 泉田 スジンダ	23
	12	韓国語講座 — 入門・初級・中級コース —	国際学部非常勤講師 金 多希 崔 賢允	24-27
教養・文化	13	実践!!ファシリテーター養成コース	地域連携教育研究センター 准教授 佐々木 英和 他1名	28
	14	明治42年生まれの作家たち (夏期) (秋期)	名誉教授 小池 清治	29
	15	書道 — 大人のお習字 — — 制作の時間 —	中島 宗皓 (教育学部教授 中島 望)	30 31
	16	シャーロックホームズの世界に遊ぶ	名誉教授 大関 清太 他3名	32
	17	日本経済・2014年	名誉教授 吉田 紘	33
	18	文明と世界	元宇都宮大学客員教授 神長 善次	34

	No.	講座名	担当講師	ページ
教養・文化	19	役に立つ気象学 —実生活にすぐに活用できる気象学—	農学部准教授 高橋 行継	35
	20	江戸の歴史	教育学部准教授 高山 慶子	36
	21	生活に生きる臨床心理学	教育学部准教授 白石 智子	37
	22	水と微生物の力で進化する 未来型作物栽培	農学部准教授 福井 糧 他 1 名	38
	23	英語の新知識	名誉教授 浅野 一郎	39
	24	クラシック音楽への招待 ～オーケストラの楽しみ～	農学部准教授 高橋 行継 栃木県交響楽団 萩町 修	40
	25	フィットネスウォーキング	ヨガインストラクター ポールウォーキングコーチ 理学療法士	41
	26	基礎から学ぶ朗読講座	朗読家・和洋女子大学 秋元紀子	42
地域	27	グリムの昔話と日本の昔話を 共に考える	名誉教授 橋本 孝	43
	28	民俗学からみた栃木 V	栃木くらし文化研究所代表 柏村 祐司	44
	29	いのちをいただきます —食と農の視点で、食卓から健康までを考える—	宇都宮大学認定 食農ファンリテーター	45
	30	里山で楽しむランブリング	農学部教授 大久保 達弘 他 4 名	46
	31	自然とともに	宇都宮里山遊び達人協会 和氣 博之	47
	32	里山科学入門	地域連携教育研究センター 准教授 高橋 俊守 教授 廣瀬 隆人	48
	33	里山の資源と利用	地域連携教育研究センター 准教授 高橋 俊守 他 1 名	49
	34	人間と動物の共生を考える	教育学部准教授 川島 芳昭 他	50
	35	鳥獣管理の基礎	雑草と里山の 科学教育研究センター 教授 小金澤 正昭 他 3 名	51
	鳥獣管理の応用	雑草と里山の 科学教育研究センター 教授 小金澤 正昭 他 3 名	52	

Ⅲ 平成26年度公開講座実施期間一覧表

No.	講座名	定員	受講料	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		
				上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上
1	共催 読売連携講座 「今を読み解く」	200	0																									
2	女性の力を企業の力に!	150	0																									
3	基盤教育特別公開講座	各20	0																									
4	現地で学ぶ「宇都宮学」 城下町うつのみやの文化財を訪ねて	20	0																									
5	図書館の達人 — 図書館に行ってみよう —	10	0																									
6	アイヌ文化を学ぶ	30	0																									
7	社会参加支援セミナー	20	0																									
8	宇都宮城と蓮池 — 中世のハスの再生 —	30	0																									
9	韓国料理入門 — 韓国料理を通じて韓国語に触れよう —	12	5,000																									
10	韓国伝統料理 — 行事食から韓国文化への造詣を深める —	12	5,000																									
11	タイ料理入門 — タイ料理の特徴を知り、食材を親しむ —	12	5,000																									
12	韓国語講座— 入門コース —	20	10,000																									
	韓国語講座— 初級コース —	20	10,000																									
	韓国語講座— 中級コースⅠ —	20	10,000																									
	韓国語講座— 中級コースⅡ —	20	10,000																									
13	実践!! ファシリテーター養成コース2014	15	15,000																									
14	明治42年生まれの 夏期	30	5,000																									
	明治43年生まれの 秋期	30	5,000																									
15	書道— 大人のお習字 —	18	10,000																									
	書道— 制作の時間 —	12	10,000																									
16	シャーロックホームズの世界に遊ぶ	20	10,000																									

No.	講座名	定員	受講料	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		
				上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上
17	日本経済・2014年	20	5,000																									
18	文明と世界	20	5,000																									
19	役に立つ気象学	20	5,000																									
20	江戸の歴史	20	5,000																									
21	生活に生きる臨床心理学	15	5,000																									
22	水と微生物の力で進化する 未来型作物栽培	30	5,000																									
23	英語の新知識	20	5,000																									
24	クラシック音楽への招待	20	5,000																									
25	フィットネスウォーキング	20	10,000																									
26	基礎から学ぶ朗読講座	15	5,000																									
27	グリムの昔話と日本の昔話を共に考える	20	10,000																									
28	民俗学からみた栃木	20	5,000																									
29	いのちをいただきます	15	5,000																									
30	里山で楽しむランプリング	15	10,000																									
31	自然とともに	10	5,000																									
32	里山科学入門	15	5,000																									
33	里山の資源と利用	15	5,000																									
34	人間と動物の共生を考える	20	5,000																									
35	鳥獣管理の基礎	20	5,000																									
	鳥獣管理の応用	20	10,000																									

IV

受講手続き等について

1. 受講対象者

どなたでも受講できます。

2. 受付期間

平成26年5月9日(金)午前10時から受付を開始いたします。受付は先着順です。各講座、定員に達するまで随時受付を行います。

※一部の講座では申込方法が抽選となりますので、ご注意ください。

抽選：4月30日(水)を締め切り日とし、抽選を行います。
詳しくは10. 11ページをご覧ください。

申込日が上記以外：詳しくは12ページをご覧ください。

受付時間 10時～12時、13時～16時30分
(土、日、祝祭日を除く)

受付場所 宇都宮大学地域連携教育研究センター
(66ページの構内建物配置図をご参照ください。)

3. 申込方法

◇受付初日5月9日(金)のお申込み

所定の申込用紙に必要事項をご記入の上、受講料を添えて地域連携教育研究センターへ直接お申込みください。

※受講料以外で別途必要となる費用は、12ページの「公開講座科目内容の紹介」にてご確認ください。

※初日は電話、FAX、メールでのお申込みの受付はしておりません。

◇受付2日目(5/12)以降のお申込み(2通り)

①直接：受講料を添えて、地域連携教育研究センターへ直接お申込みください。

②口座振込：お振込みをされる前に、受付状況をご確認ください。受講料の納入はご連絡頂いた日から3日以内をお願いいたします。
申込後、申込用紙を郵送又はFAXで送付してください。

口座名義：国立大学法人宇都宮大学 学長 進村 武男
振込先：足利銀行峰町支店
口座番号：普通預金 3217321

※「公開講座受講申込用紙」は、地域連携教育研究センターホームページからダウンロードできますので、印刷してご利用ください。FAX・郵送をご希望の方はご連絡ください。

アドレス：<http://www.utsunomiya-u.ac.jp/cercc/index.html>

4. 公開講座実施会場

原則として会場は地域連携教育研究センターですが、講座の都合により、ほかの会場を使用する場合があります。各講座の紹介をご確認ください。

5. とちぎ県民カレッジ連携講座について

全ての講座は、とちぎ県民カレッジと連携しています。講座の修了者は、希望により、とちぎ県民カレッジから単位が認定されます。詳細は、栃木県総合教育センター生涯学習部（TEL 028-665-7206）へお問い合わせください。

注意及びお願い

- ◎ 受講料の払い戻しは、お申込み後の日程変更などセンターの都合により受講不可となった場合を除いて原則として行いません。
- ◎ 講座により受講料の他にテキスト代、教材費等が必要になることがあります。各講座の内容に記載してあるもの以外で必要になった場合には、ご連絡いたします。
- ◎ お申込手続き完了後、講座開始日時の変更等以外は、センターから連絡はいたしません。講座開始日に直接、会場へお越しください。
- ◎ 受講申込者が少数の場合等、当該講座を中止させていただくことがあります。（開催1ヶ月前までに6名以上の申し込みがある場合に開催します。）
- ◎ 受講料は、おつりのないようにご用意ください。

〈車で来校される方へ〉

- ① お申込み時は、正門案内所にその旨をお伝えください。
- ② 講座受講時は、入構許可証のない車両は本学構内に入構できません。車での来学を希望される方は**申込み時**にお申し出ください。入構許可証を発行いたします。なお、入構許可証の発行時に、**車のナンバー**が必要となりますので、確認してきてください。

〈問い合わせ先〉

宇都宮大学地域連携教育研究センター

〒321-8505 宇都宮市峰町350

TEL 028-649-5144

FAX 028-649-5145

E-mail chiren@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

(月～金 10:00～12:00 / 13:00～17:00)

＜抽選＞申込み方法について

「現地で学ぶ宇都宮学」「書道／①・②コース」 「韓国料理入門」「韓国伝統料理」「タイ料理入門」

例年、どの講座においても、申込み先着順で定員を締め切らせて頂いておりますが、「現地で学ぶ宇都宮学」「書道」「韓国料理入門」「韓国伝統料理」「タイ料理入門」は、毎回受付開始と同時に定員に達してしまう状況が予想されます。そのため、受付初日に申込みに来られない方や、遠くの方で早い時間に来られない等、公平性を欠いてしまうため、抽選をさせていただきます。「現地で学ぶ宇都宮学」「書道」「韓国料理入門」「韓国伝統料理」「タイ料理入門」の受講を希望される方は下記要領で必ず往復はがきにてご応募ください。

※4月30日(水)必着

抽選の上、5月1日(木)以降に受講の可否を通知いたします。受講が決定された方は、8ページ「3. 申込方法」のとおり、受講手続きを行ってください。

注 意

- ◎ 受講される方のお名前でご応募ください。
- ◎ ひとつの講座につき、お一人様1枚のはがきでお願いいたします。複数枚送っていただいた場合、そのうちの1枚を抽選の対象とさせていただきます。
- ◎ 記入内容に不備等があった場合、抽選の対象から外させていただきます場合もあります。

応募方法

- ① 受講希望講座名 (ハガキ1枚につき1講座1コースのみ)
例) 「書道〇〇コース」
- ② 郵便番号
- ③ 住所
- ④ 氏名
- ⑤ 電話番号 (必ずご連絡がつくもの)
- ⑥ メールアドレス (お持ちの場合)

以上を往復はがき往信裏面に記入し、4月30日(水)必着までに宇都宮大学地域連携教育研究センター宛までお送りください。

記入例

往信：表

返信：裏

<p><input type="checkbox"/> 3 2 1 - 8 5 0 5</p> <p>宇都宮市峰町三五〇 宇都宮大学 地域連携教育研究センター 行</p>	<p>(無記入)</p>
---	--------------

返信：表

往信：裏

<p><input type="checkbox"/></p> <p>ご自分の 住所 氏名</p>	<p>① 受講希望講座名 ② 郵便番号 ③ 住所 ④ 氏名 ⑤ 電話番号 ⑥ メールアドレス</p>
---	--

期日 曜日 時間帯
5月24日～11月8日 土曜日 13:30～15:30

— 読売新聞社・宇都宮大学共催公開講座 —

1. “いま”を読み解くチカラ

— 「なぜ？」を深める“教養力” —

担当講師

国際学部准教授	清水 奈名子
教育学部教授	鈴木 啓子
農学部教授	飯郷 雅之
教育学部准教授	小原 一馬
農学部教授	関本 均

講座の内容

何がホントで、何がウソか。私たちは、そのことを判別しにくい混迷の時代に生きています。本講座では、こうした困難さを抱えた「現在」を読み解いていくための手がかりを、多彩な分野にわたる学問的蓄積を踏まえて探っていきます。

定員 200名
受講料 無料
プログラム 全5回

開催日	講義テーマ	講師
1. 5月24日(土)	“国際報道の重層性”を読み解く — 「伝わってくること」と「読み解けること」 —	清水 奈名子
2. 6月21日(土)	“文学的読書”を読み解く — 「世界を読み替える力」の育成をめざして—	鈴木 啓子
3. 7月12日(土)	“生き物と環境と遺伝子の関係”を読み解く — 「生きていること」の内側と外側—	飯郷 雅之
4. 10月11日(土)	“風評被害”を読み解く — 不合理の合理性と、認識の社会的進化—	小原 一馬
5. 11月8日(土)	“科学的思考の多面性”を読み解く — 身近なモノ・コトが語る食と農—	関本 均

その他

会場 : 峰町5号館 2F 1223教室

この講座は、定員に達するまで、随時お申込みを受け付けます。
1度のお申し込みで、全5回の受講が可能となります。

期日
8月21日

曜日
木曜日

時間帯
13:30～15:30

とちぎ男女共同参画センター&宇都宮大学連携事業

2. 女性の力を企業の力に！

－多様な人財とともに拓くとちぎの未来－

担当講師

G&S Global Advisors Inc. 代表取締役社長

橘・フクシマ・咲江

講座の内容

第一子の出産を機に6割の女性が退職する状況はこの20年ほとんど変わらず、世界経済フォーラムが発表した2013年版「ジェンダーギャップ指数」は過去最低の136カ国中105位…。雇用の現場での女性の活躍は依然として進んでいません。人口が減少が進む中、女性の力を企業の力にできるかどうかは、今後の企業の成長に関わってきます。経済同友会が発表した『『意思決定ボード』のダイバーシティに向けた経営者の行動宣言～競争力としての女性管理職・役員の登用・活用～』の取りまとめの中心となったフクシマ氏から、経済界の女性活躍に向けた最新の動きと、企業が求めるこれからの人財についてお話させていただきます。

日時

2014年8月21日(木)

13:30～13:40 セレモニー

13:40～15:10 講演

15:10～15:30 質疑応答

定員 150名程度

受講料 無料

申込方法

この講座については4月1日(火)から受付が開始となります。パーティホームページ、電話、FAX、直接来館でお申し込みください。先着順となります。

とちぎ男女共同参画センター事業推進課

〒320-0071 宇都宮市野沢町4番地1(パーティ内)

Tel 028-665-8323 Fax 028-665-8325

<https://www.parti.jp/>

会場 宇都宮大学 1223教室(峰町5号館 2F)

3. 基盤教育特別公開講座

講座の内容

宇都宮大学基盤教育センターでは、本学の正規授業として開講している基盤教育科目の一部を、学外の方々に特別に無料で公開します。基盤教育科目とは、これまで一般的に「一般教育」あるいは「教養教育」と呼ばれてきた授業群を基に、それらを発展的に再編成することを旨とした呼び名です。

定員 各講座 20名程度

受講料 無料

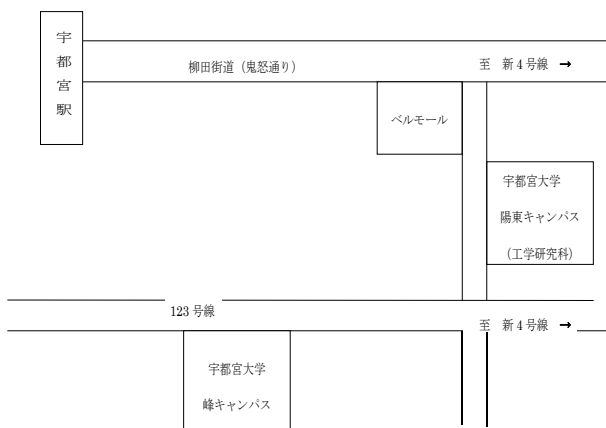
○各講座毎にお申し込み下さい。

○開催場所につきましては、66ページの構内配置図を参考にして下さい。なお、陽東キャンパスにつきましては、陽東キャンパスの案内所でご確認下さい。

○日時・教室が変更になる場合がございます。どうぞご了承下さい。

○講座開始時間の10分前までに、各教室にお越し下さい。

【大学周辺の案内図】



1. 「より良く生きる」		
時間：14：30-16：00 場所：陽東キャンパス総合教育棟 212教室		工学研究科
5月20日(火) 7月1日(火)	夢と、やりたいことと、現実と① 夢を見つける	上原 伸夫 大庭 享
2. 「危機を見つめる力」		
時間：10：30-12：00 場所：峰キャンパス5号館 ラーニング commons*		消費者庁消費者安全 調査委員会委員 他
5月23日(金) 6月27日(金) 7月4日(金) 7月5日(土)	身の回りの消費生活における様々な危険 -消費者庁、消費者委員会の取り組み- 安全問題とヒューマンファクター 危機と安全、安全の定義とリスク -絶対安全は存在しない、安心とは何か- 社会安全実現のためのリスクマネジメント	松岡 猛 垣本由紀子 向殿 政男 野口 和彦
3. 「障害者心理学」		
時間：10：30-12：00 場所：峰キャンパス5号館 1121教室		教育学部
5月29日(木) 6月5日(木) 6月12日(木)	「LDとは」 「ADHDとは」 「ASD（自閉症スペクトラム障害）とは」	梅永 雄二
4. 「先輩に学ぶ」		
時間：8：50-10：20 場所：峰キャンパス4号館 1341教室		宇都宮大学長
7月23日(水)	紆余曲折・たどりついた宇大発の新技術「磁気研磨」 ～磁石1個が切り開く身近なイノベーション～	進村 武男
5. 「ノーベル化学賞周辺の化学」		
時間：8：50-10：20 場所：峰キャンパス4号館 1254教室		農学部
10月15日(水)	「2008年度受賞者 下村 脩教授の業績 オワンクラゲの緑色蛍光タンパク質」	横田 信三
6. 「身近な気象学」		
時間：8：50-10：20 場所：峰キャンパス農学部棟 3101教室		農学部
1月19日(月) 1月26日(月)	地球温暖化はこうして起こる ～過去の学会論争～ 地球温暖化で生活や自然界、 農業生産はもう変わりつつある	高橋 行継

期日 曜日 時間帯
11月4日～11月18日 火曜日 10:00～12:30

宇都宮市文化財ボランティア協議会との共催

4. 現地で学ぶ「宇都宮学」

—城下町うつのみやをたずねる—

担当講師

宇都宮市文化財ボランティア協議会会長 上野 とも子
宇都宮市文化財ボランティア協議会会員
松下 昭夫・大島 一夫
酒井 光一・齋藤 寧
中里 泰子・坂本 明

講座の内容

宇都宮城址めぐり、城下町うつのみやの文化財を訪ねます。

定員 20名
受講料 無料
プログラム 全3回

月日	テーマ	担当講師
1. 11月 4日(火)	二荒山と宇都宮城入城コースを歩く	上野・松下・大島
2. 11月11日(火)	宇都宮城ゆかりの寺社めぐり	上野・酒井・齋藤
3. 11月18日(火)	蒲生君平ゆかりの地をたずねる	上野・中里・坂本

その他

- 宇都宮城址公園内ものしり館前に10:00までに集合して下さい。
- 3回目は東武宇都宮駅西口バス停付近に10:00までに集合して下さい。
- 傷害保険料 681 円を別途ご負担お願いします。申込時に加入手続きをいたしますのでおつりのないようにお持ち下さい。
- 雨天決行・中止の場合のみ、各受講者に連絡をします。

期日
9月9日

曜日
火曜日

時間帯
10:00 ~ 12:30

附属図書館との共催

5. 図書館の達人

—図書館に行ってみよう—

担当講師

附属図書館 板橋 久夫

講座の内容

一般市民が大学図書館を利用するために必要な利用案内。図書館学概論、館内の資料や設備の案内、蔵書検索の方法など、宇都宮大学附属図書館を最大限に生かすためのノウハウを丁寧に教えます。
(

定 員 10名

受講料 無料

プログラム 全1回

月 日 9月9日(火)

その他

- 会場は附属図書館です。
- 直接、附属図書館の1Fのアトリウム（吹き抜け）に9:50までに集合して下さい。
- テキストは図書館で無料配布します。

期日 11月22日～11月23日 曜日 土・日曜日 時間帯 9:00～16:00

(財)アイヌ文化振興・研究推進機構との共催

6. アイヌ文化を学ぶ

—展示と講座—

担当講師

札幌大学教授 本田 優子
地域連携教育研究センター教授 廣瀬 隆人

講座の内容

アイヌ民族は日本国内各地に居住する先住民族です。ここではアイヌ民族の歴史と文化を学びます。同時にアイヌの暮らし展を開催し展示解説を通じて、正しいアイヌ文化を学びながら、私たちの人権感覚を磨きます。今年は札幌大学ウレシパプロジェクトの学生4名も参加し、歌と踊りを披露します。

定員 30名

受講料 無料

プログラム 全2回

月日

テーマ

- | | | |
|--------------|--------------------------|-------------|
| 1. 11月22日(土) | アイヌ民族の歴史と文化
歌と踊り〈第1部〉 | 10:00～12:00 |
| | 講義〈第2部〉 | 13:30～16:00 |
| | アイヌの暮らし展・解説 | 9:00～16:00 |
| 2. 11月23日(日) | アイヌの暮らし展・解説 | 9:00～13:00 |

期日 曜日 時間帯
12月1日 ~ 12月15日 月曜日 10:00~12:00

栃木県保健福祉部高齢対策課との共催

7. 社会参加支援セミナー

担当講師

地域連携教育研究センター教授 廣瀬 隆人
地域連携教育研究センター准教授 佐々木英和

講座の内容

シルバー大大学校などの卒業生や学習成果を生かした社会参加を希望する主としてシニアの世代の人々が、地域社会の様々な活動に参加したり、自分たちで事業を企画したりするための知識と技術を身に付けることをねらいとしています。ボランティア活動や地域での学習機会を提供するための基本的な技術や方法、心構えを学びます。

定 員 20名

受 講 料 無料

プログラム 全3回

	月 日	テーマ	
1.	12月 1日(月)	新しい仲間に出会おう！	佐々木
2.	12月 8日(月)	地域社会のルールと掟	廣瀬
3.	12月15日(月)	上手な自己表現を身につけよう！	佐々木

公開講座としては以上の3回ですが、
以下は希望者のみ、ご案内いたします。

- ① 12月13日(土)社会参加の実践・森林整備ボランティア活動
(定員10名程度)
- ② 12月21日(日)社会参加の実践・森林整備ボランティア活動
(定員10名程度)

社会参加支援セミナー受講申込み者全員に11月中旬に別途チラシを郵送します。詳細はチラシをご覧ください。

期日 7月20日～10月19日 曜日 金・土・日 時間帯 13:00～17:00

宇都宮城跡蓮池再生検討委員会との共催

8. 宇都宮城と蓮池 6

—中世のハスの再生—

担当講師

栃木県写真家協会理事	大手 義雄
宇都宮城跡蓮池再生検討委員会事務局長	印南 洋造
田中正造記念館副理事長	松本美津枝
教育学部准教授	高山 慶子
農学部准教授	西尾 孝佳
教育学部教授	松居誠一郎

講座の内容

江戸期の絵図には蓮池などの記述があったことから、蓮池跡には必ずや蓮の実があるものと、多くの市民の協力をいただき蓮の実を発見しました。中世後期以降とされる蓮の実から、平成23年7月に淡紅色の綺麗な花が開花しました。この講座では宇都宮城の蓮池に関する宇都宮の文化等を多面的に発掘し報告します。

定員 30名

受講料 無料

プログラム 全6回

月日	テーマ	担当講師
1. 7月20日(日)	館林から見た「田中正造」	松本
2. 10月17日(金)	水生植物の保全と管理	西尾
3. "	蓮池周辺の自然環境IV	松居
4. 10月18日(土)	第12回栃木花蓮写真展作品講評	大手
5. "	蓮池から見える「宇都宮仕置」	印南
6. 10月19日(日)	宇都宮城主の変遷	高山

その他

○会場：大学会館トークルーム I
○講座の期間中に蓮写真展を大学会館多目的ホールにて開催します。(10月17日・18日 9時～16時、19日 9時～14時)
○7月20日(日)は大学バスで館林に出かけます。別途、傷害保険料227円をご負担をお願いします。申込時に加入手続きをいたしますので、おつりのないようにお持ちください。他の実費等につきましても、各自ご負担願います。詳細は申込後にご案内いたします。

期日
5月23日～ 7月4日

曜日
金曜日

時間帯
10:30～13:00

9. 韓国料理入門

—韓国料理を通じて韓国語に触れよう—

コーディネーター 教育学部准教授 大森 玲子

担当講師 韓国料理研究家 金 学英

講座の内容

韓国語と韓国料理に興味がある初心者のための講座です。韓国料理の基本的な食材や作り方について学ぶことを通し、韓国語に親しむことを目的にしています。

定 員 12名

受講料 5,000円

プログラム 全4回

月 日

テーマ

1. 5月23日(金) 韓国料理の基礎1
2. 6月 6日(金) 韓国料理の基礎2
3. 6月20日(金) 韓国料理の基礎3
4. 7月 4日(金) 韓国料理の基礎4

その他

- 材料費として、別途3,000円が必要です。初回に集めます。
- 調理実習(3～4名/班)を行いますので、エプロン・三角巾・手拭き等を持参して下さい。
- 食べきれない分は各自の判断においてお持ち帰りいただいても結構です。容器などを持参して下さい。
- 会場は、教育学部B棟2F調理実習室(10時から入室できます)
- 2年続けての受講はできません。
- 抽選での受付となります。詳しくは10、11ページをご覧ください。

期日 曜日 時間帯
9月12日～ 10月24日 金曜日 10:30～13:00

10. 韓国伝統料理

—行事食から韓国文化への造詣を深める—

コーディネーター 教育学部准教授 大森 玲子

担当講師
韓国料理研究家 金 学英

講座の内容

韓国料理の特徴や用いられる食材について、ある程度理解している人のための講座です。行事食を中心に、講義と実習を取り入れ、韓国文化への理解を深めることを目的としています。

定 員 12名

受講料 5,000円

プログラム 全4回

	月 日	テーマ
1.	9月12日(金)	韓国の行事食1
2.	9月26日(金)	韓国の行事食2
3.	10月10日(金)	韓国の行事食3
4.	10月24日(金)	韓国の行事食4

その他

- 材料費として、別途3,000円が必要です。初回に集めます。
- 調理実習(3～4名/班)を行いますので、エプロン・三角巾・手拭き等を持参して下さい。
- 食べきれない分は各自の判断においてお持ち帰りいただいても結構です。容器などを持参して下さい。
- 会場は、教育学部B棟2F調理実習室(10時から入室できます。)
- 2年続けての受講はできません。
- 抽選での受付となります。詳しくは10、11ページをご覧ください。

期日
5月21日～7月2日

曜日
水曜日

時間帯
13:00～15:30

11. タイ料理入門

－タイ料理の特徴を知り、食材を親しむ－

コーディネーター 教育学部准教授 大森 玲子

担当講師
タイ料理研究家 泉田 スジンダ

講座の内容

タイ料理に用いられる調味料や香辛料には、日本食では使用されない特徴的な風味をもつものが多くあります。この講座では、タイ料理の特徴を知り、用いられる食材に親しむことを目的としています。

定 員 12名

受講料 5,000円

プログラム 全4回

月 日

テーマ

1. 5月21日(水) タイ料理の特徴と食材 (講義と簡単な実習)
2. 6月4日(水) タイ料理の基礎1 (実習)
3. 6月18日(水) タイ料理の基礎2 (実習)
4. 7月2日(水) タイ料理の基礎3 (実習)

その他

- 材料費として、別途3,000円が必要です。初回に集めます。
 - 調理実習(3～4名/班)を行いますので、エプロン・三角巾・手拭き等を持参して下さい。
 - 食べきれない分は各自の判断においてお持ち帰りいただいても結構です。容器などを持参して下さい。
 - 会場は、教育学部B棟2F調理実習室(12時30分から入室できます)
- 抽選での受付となります。詳しくは10、11ページをご覧ください。

期日
6月4日～8月6日

曜日
水曜日

時間帯
14:00～16:00

12. ①初心者のための韓国語入門コース —はじめての韓国語—

コーディネーター

国際学部教授

丁 貴連

担当講師

国際学部非常勤講師

金 多希

講座の内容

初めて韓国語に接する初心者を対象にする入門コースです。
まずは基本となる文字ハングルの読み・書きをはじめ、
韓国語で簡単な自己紹介ができることを目指します。

定 員 20名

受講料 10,000円

プログラム 全10回

月 日	テーマ
1. 6月4日(水)	韓国語と文字
2. 6月11日(水)	基本母音字・基本子音字
3. 6月18日(水)	合成子音字・合成母音字
4. 6月25日(水)	パッチム・連音化
5. 7月2日(水)	いろいろなあいさつ・復習
6. 7月9日(水)	自己紹介-나는 일본 사람입니다.
7. 7月16日(水)	指示代名詞-이것은 무엇입니까?
8. 7月23日(水)	家族-누구의 책임니까?
9. 7月30日(水)	位置-학교는 어디에 있습니까?
10. 8月6日(水)	総まとめ

その他

テキスト：韓国語をはじめよう（初級）李昌圭 朝日出版社
第1回目にテキスト購入について説明します。

期日
8月20日～ 10月22日

曜日
水曜日

時間帯
14:00～16:00

12. ②韓国語初級コース －楽しく身につく韓国語－

コーディネーター

国際学部教授

丁 貴連

担当講師

国際学部非常勤講師

金 多希

講座の内容

すでにハングル文字の読み・書きができる方を対象にする初級コースです。文法の基礎表現を習得しながら、初歩的な読み、書き、聞き取りの力を伸ばせることを目指します。

定 員 20名

受講料 10,000円

プログラム 全10回

月 日

テーマ

1. 8月20日(水) 入門コース復習
2. 8月27日(水) 動詞-무엇을 합니까?
3. 9月 3日(水) 方向と場所-어디에 갑니까?
4. 9月10日(水) 形容詞-날씨는 어떻습니까?
5. 9月17日(水) 漢字数詞-오늘은 며칠입니까?
6. 9月24日(水) 固有数詞-한 개에 얼마입니까?
7. 10月 1日(水) 敬語-어디에 사십니까?
8. 10月 8日(水) 過去形-어제 무엇을 했어요?
9. 10月15日(水) 未来形・意志-이번 주말에 어디에 갑니까?
10. 10月22日(水) 総まとめ

その他

テキスト：韓国語をはじめよう（初級）李昌圭 朝日出版社
第1回目にテキスト購入について説明します。

期日
11月5日～1月14日

曜日
水曜日

時間帯
14:00～16:00

12. ③韓国語中級コース I —もっと話せる韓国語—

コーディネーター

国際学部教授

丁 貴連

担当講師

国際学部非常勤講師

金 多希

講座の内容

韓国語初級コースで習得した文法や基本フレーズを確かめながら、自然に韓国語がもっと話せることを目指します。

定 員 20名

受講料 10,000円

プログラム 全10回

月 日

テーマ

1. 11月 5日(水) 初級コース復習
2. 11月12日(水) 理由(～아/어/해서)-늦어서 미안합니다.
3. 11月19日(水) 希望・願望表現
(～고 싶다)-비빔밥을 먹고 싶어요?
4. 11月26日(水) 意図・意志(～ㄹ(을)게요)-요즘 바빠요?
5. 12月 3日(水) 連体形
(～는/ㄴ(은)/ㄹ(을))-어디서 찍은 사진이에요?
6. 12月10日(水) 経験
(～아/어/해 보다)-자세히 설명해 드리겠습니다.
7. 12月17日(水) 時間の経過
(～ㄴ(은) 지)-한국에 온 지 얼마나 되었어요?
8. 12月24日(水) 仮定文(～(으)면)-미술관은 여기서 가까워요?
9. 1月 7日(水) 動作の並行
(～(으)면서)-운전하면서 전화하지 마세요.
10. 1月14日(水) 総まとめ

その他

テキスト：韓国語をはじめよう(中級)李昌圭 朝日出版社
第1回目にテキスト購入について説明します。

期日
6月2日～8月11日

曜日
月曜日

時間帯
14:00～16:00

12. ④韓国語中級コースⅡ ーもっと話せる韓国語ー

コーディネーター

国際学部教授

丁 貴連

担当講師

国際学部非常勤講師

崔 寶允

講座の内容

韓国語中級コースⅠを修了した方や、もう一度中級の内容をしっかりと勉強したいと思う方のための講座です。日常生活と密接な文型を中心に会話を練習します。言語の背景にある韓国文化についても触れていきます。(授業内容によって韓国ドラマや映画、k-popを用いる場合があります。)

定 員 20名

受 講 料 10,000円

プログラム 全10回

月 日

テーマ

1. 6月 2日(月) 中級コースⅠの復習 (テキストの1課～14課)
2. 6月 9日(月) 推測: 비가 많이 오는 것 같아요
3. 6月16日(月) 状況説明、逆説: 감기는 다 나아어요?
4. 6月23日(月) 許可: 여기서 사진을 찍어도 돼요?
5. 6月30日(月) 復習及び韓国文化Ⅰ
6. 7月 7日(月) 同意、確認: 경복궁은 어떻게 가면 되지요?
7. 7月14日(月) 当然な行為、条件: 주말에도 학교에 가야 해요?
8. 7月28日(月) 르不規則活用: 배가 불러서 더 못 먹겠어요
9. 8月 4日(月) 可能: 열 시까지 올 수 있어요?
10. 8月11日(月) 復習及び韓国文化Ⅱ

その他

テキスト: 韓国語をはじめよう (中級) 李昌圭 朝日出版社
第1回目にテキスト購入について説明します。

期日
5月20日～11月4日

曜日
火曜日

時間帯
18:45～20:45

13. 実践!!ファシリテーター養成コース2014

ー自信を持ってファシリテーションを進めたい貴方のためにー

担当講師

地域連携教育研究センター准教授

佐々木 英和

NPO 法人ファシリテーション協会会員

森 敦子

講座の内容

本講座では、「ファシリテーション」の理論や実践の本質を理解するとともに、ファシリテーターとして実際に活躍していくための様々な手法を身につけていきます。

定 員 15名

受講料 15,000円

プログラム 全15回

	月 日	テーマ	担当講師
1.	5月20日(火)	ファシリテーションとは何か?	佐々木・森
2.	5月27日(火)	コミュニケーションの基本技法	佐々木
3.	6月 3日(火)	ソリューションの基本技法	佐々木
4.	6月10日(火)	クリエーションの基本技法	佐々木
5.	6月17日(火)	仲間作りも進んでいくグループ学習法	佐々木・森
6.	6月24日(火)	プレゼンテーションの基本技法	佐々木
7.	7月 1日(火)	自己表現力を鍛えるための応用技法	佐々木
8.	7月 8日(火)	効果的な文章作成のための基本技法	佐々木
9.	7月15日(火)	効果的な広報・PRの基本技法	佐々木・森
10.	7月22日(火)	雰囲気作りの実践技法	森
11.	10月 7日(火)	アイデアを出し合う実践技法	森
12.	10月14日(火)	アイデアをまとめあげていく実践技法	森
13.	10月21日(火)	「企画づくりから人集めまで」の実務手順	森
14.	10月28日(火)	「自己表出から他者理解まで」の会議進行	森
15.	11月 4日(火)	ファシリテーターとして活躍するために	佐々木・森

その他

プログラムを体系的に編成している都合上、第1回目(5月20日)からの受講を強くお勧めしています。

期日	曜日	時間帯
6月 5日～ 7月 3日	木曜日	10:00～12:00
10月2日～10月30日	木曜日	10:00～12:00

14. 明治42年生まれの四人の作家たち

担当講師

名誉教授

小池 清治

講座の内容

明治42年(1909)生まれの四人の作家たちの作品を読みくらべて、それぞれの文学の特質と時代との関連について考える

定員 各期、30名

受講料 各期、5,000円(各期毎にお申し込みが必要です。)

プログラム 各期、5回

一夏 期一

月 日

テーマ

1. 6月 5日(木) 中島敦(1909-42) 山月記・李陵・光と風と夢
2. 6月12日(木) 太宰治(1909-48) 晩年・人間失格・思ひ出
3. 6月19日(木) 走れメロス・富獄百景・トカトントン
4. 6月26日(木) 姓徒・斜陽・雀こ・満願
5. 7月 3日(木) ヴィヨンの妻・桜桃・津軽

一秋 期一

月 日

テーマ

1. 10月 2日(木) 大岡昇平(1909-88)
俘虜記・野火・レイテ戦記・武蔵野夫人
2. 10月 9日(木) 松本清張(1909-92) 西郷札・或る小倉日記伝
3. 10月16日(木) 啾啾吟・菊枕・断碑・真贋の森
4. 10月23日(木) 父系の指・張込み・顔・天城越え
5. 10月30日(木) 点と線・ゼロの焦点・砂の器・日本の黒い霧
神々の乱心

文庫本で安価で購買できます。

あらかじめ、一読しておいてください。

期日
6月5日～7月24日

曜日
木曜日

時間帯
18:10～19:40

15. 書道

担当講師

中島 宗皓
(教育学部教授 中島 望)

講座の内容

書道は「藝道」という日本独自の藝術思想によって発展し、今日のアートとは本質的に異なる。本講座の目標は、「書の本道」を学び、書道をより身近なものにすることにあります。

※抽選での受付となります。
詳しくは10、11ページをご覧ください。

①【大人のお習字】全8回

定 員 18名

受講料 10,000円

プログラム

月 日

テーマ

1. 6月5日(木) 書道とは何か?その歴史について
2. 6月12日(木) 正しい「ひらがな」を書いてみる
3. 6月19日(木) 正しい「楷書体」を書いてみる
4. 6月26日(木) 正しい「行書体」を書いてみる
5. 7月3日(木) 古典の学習「篆書体・隸書体」
6. 7月10日(木) 古典の学習「楷書体・行書体」
7. 7月17日(木) 古典の学習「草書体・かな」
8. 7月24日(木) 現代文を書いてみる

そ の 他

●初心者、経験者を問いません。本学の公開講座「書道」を初めて受講される方に限ります。

○指定のテキストを使用しますので、初回に代金(¥2,000)を持参ください。

○小・中学校で学ぶ国語科「書写」程度の内容から始めます。

○毛筆(大・小)1組、下敷きは指定します。また、その他の用具・用材は教室で購入できます。

期日
10月2日～2月5日

曜日
木曜日

時間帯
18：10～19：40

②【制作の時間】 全12回

定 員 12名

受 講 料 10,000円

プログラム

月 日	テーマ
1. 10月 2日(木)	個別テーマによる臨書、または作品制作①
2. 10月 9日(木)	個別テーマによる臨書、または作品制作②
3. 10月23日(木)	個別テーマによる臨書、または作品制作③
4. 10月30日(木)	個別テーマによる臨書、または作品制作④
5. 11月 6日(木)	個別テーマによる臨書、または作品制作⑤
6. 11月13日(木)	個別テーマによる臨書、または作品制作⑥
7. 11月20日(木)	個別テーマによる臨書、または作品制作⑦
8. 12月 4日(木)	個別テーマによる臨書、または作品制作⑧
9. 12月11日(木)	個別テーマによる臨書、または作品制作⑨
10. 12月18日(木)	個別テーマによる臨書、または作品制作⑩
11. 12月25日(木)	講評会（学書展作品選別）
12. 2月 5日(木)	宇都宮大学学生書道展（宇大学書展）

そ の 他

●昨年度、本年度の前期「書道」修了者に限ります。制作の時間は毎年何度でも受講できます。

○制作の時間では、各自で課題を進め、個別指導を受けることができます。

○受講者は、初日に課題「半切臨書（内容は自由）」を1点以上持参してください。

○このコースの受講生は、「宇都宮大学学生書道展」に出品します。（作品表装費実費）

書道講座の会場

教育学部 F 棟 2 階（東） 書道教室

（17 時 40 分より入室できます。）

期日
6月5日～10月30日

曜日
木曜日

時間帯
13:30～15:30

16. シャーロック・ホームズの世界に遊ぶ

〔緋色の研究〕と「ボヘミアの醜聞」を通して

担当講師

名誉教授	大関 清太
名誉教授	高際 澄雄
工学部准教授	寄川 弘玄
作家	飯島 一次

講座の内容

探偵小説の世界を確立したドイルの作品、シャーロック・ホームズを色々な切り口で楽しみます

定員 20名

受講料 10,000円

プログラム 全10回

月日	テーマ	
1. 6月5日(木)	「マスグレーブ家の儀式」その1	大関
2. 6月12日(木)	「マスグレーブ家の儀式」その2	大関
3. 6月19日(木)	短編小説の楽しみ方	高際
4. 6月26日(木)	「ボヘミアの醜聞」その1	大関
5. 7月3日(木)	「ボヘミアの醜聞」その2	大関
6. 10月2日(木)	ポーとドイル	大関
7. 10月9日(木)	ホームズの能力	寄川
8. 10月16日(木)	シャーロックホームズのユーモア	飯島
9. 10月23日(木)	英文学におけるドイル	高際
10. 10月30日(木)	「緋色の研究」「緋色の習作」正解は	大関

その他

これらの作品はいずれもシャーロック・ホームズの文庫本に載っています。

期日
6月3日～7月1日

曜日
火曜日

時間帯
10:00～12:00

17. 日本経済・2014年

—景気／働くこと・暮らし／社会保障など—

担当講師

名誉教授

吉田 紘

講座の内容

日本経済の現状及びグローバル化の中の日本経済について概観し、生活者の観点から、働き方・暮らし・社会保障などについて考える。

定 員 20名

受講料 5,000円

プログラム 全5回

月 日

テーマ

1. 6月 3日(火) 2014年・日本経済の現状
2. 6月10日(火) 経済のグローバル化と日本経済
3. 6月17日(火) 日本の雇用と格差問題
4. 6月24日(火) 暮らしはどうなる
5. 7月 1日(火) 社会保障制度の曲がり角

期日 曜日 時間帯
10月3日 ~ 10月31日 金曜日 15:00~17:00

18. 文明と世界

人間と文化そして世界

The Civilization of the World

担当講師

元宇都宮大学客員教授

神長 善次

講座の内容

文明観、世界観の考究を通じて幅広い教養と人間性を培う。

定 員 20名

受講料 5,000円

プログラム 全5回

月 日

テーマ

1. 10月 3日(金) 文明と人間
2. 10月10日(金) 文明病と人間
3. 10月17日(金) 文明と発展
4. 10月24日(金) 日本文明論
5. 10月31日(金) 日本と世界

期日
1月26日～2月23日

曜日
月曜日

時間帯
18:45～20:45

19. 役に立つ気象学

—実生活にすぐ利活用できる役立つ気象学—

担当講師

農学部附属農場

高橋 行継

講座の内容

日本ほど四季の変化が明瞭で、天気の変化が激しい国は世界的にみても少ないです。本講座では気象に関心を持ってもらい、巷に溢れる気象情報を上手に活用していく知識をお教えします。3年連続シリーズの2年目です。

定員 20名

受講料 5,000円

プログラム 全5回

月日	テーマ
1. 1月26日(月)	四季の気象(春)
2. 2月2日(月)	四季の気象(夏)
3. 2月9日(月)	四季の気象(秋)
4. 2月16日(月)	四季の気象(冬)
5. 2月23日(月)	気象災害

期日	曜日	時間帯
6月24日～7月29日	火曜日	10:00～12:00

20. 江戸の歴史

担当講師

教育学部准教授 高山 慶子

講座の内容

現在の東京の前身である都市江戸は、武家地、町人地、寺社地など、さまざまな要素で成り立っていました。本講座では、その中の武家地に注目し、都市江戸の特質を考えます。

定員 20名

受講料 5,000円

プログラム 全5回

月日	テーマ
1. 6月24日(火)	江戸時代の制度と仕組み
2. 7月1日(火)	江戸城①
3. 7月8日(火)	江戸城②
4. 7月22日(火)	大名藩邸①
5. 7月29日(火)	大名藩邸②

期日 曜日 時間帯
7月1日～ 7月29日 火曜日 10:00～12:00

21. 生活に生きる臨床心理学

Clinical Psychology in Our Life

担当講師

教育学部准教授 白石 智子

講座の内容

こころの問題の理解と援助を扱う臨床心理学の知見に触れ、日常生活にいかすことを目的とします。

定 員 20名

受講料 5,000円

プログラム 全5回

月 日	テーマ
1. 7月 1日(火)	ストレスとどのようにつきあうか?
2. 7月 8日(火)	対人関係をどのように見るか?
3. 7月15日(火)	自分で自分をコントロールできるか?
4. 7月22日(火)	日常にいかす心理療法の理論と技法(1)
5. 7月29日(火)	日常にいかす心理療法の理論と技法(2)

そ の 他

あくまで学びが中心であり、受講者の方の個人的な問題の解決を目的とした講座ではありませんのでご注意ください。

期日
10月16日～12月11日

曜日
木曜日

時間帯
17:50～19:50

22. 水と微生物の力で進化する未来型作物栽培

担当講師

農学部准教授

(有)T&Tナーサリー代表取締役

福井 糧

手塚 博志

講座の内容

作物を栽培する上で、解っているようで解っていないのが、根の生長と発達に欠かせない「土」と「水」です。この講座では、土壌が水浸しになるくらい多灌水で栽培する『愛華農法』を解析することで、「土」と「水」について再考し、それらに対する誤解を払拭して、新たな超高収性栽培技術の手がかりについて皆さんと一緒に考えます。家庭菜園がお好きな方々も、奮ってご参加下さい。

定 員 20名

受講料 5,000円

プログラム 全5回

月 日

テーマ

1. 10月16日(木) 土壌水の性状・機能とその循環、浸水栽培の原理
2. 10月30日(木) 土壌の通気と土壌気象
3. 11月13日(木) 土壌の物理性／理化学性
4. 11月27日(木) 土壌中における無機肥料成分の特性・機能
5. 12月11日(木) ディスカッション／愛華農法の特性とその実践

期日
8月30日～9月27日

曜日
土曜日

時間帯
13:30～15:30

23. 英語の新知識

—英語教育に役立つ英語学の知見を求めて—

New Findings in English Linguistics

担当講師

名誉教授

浅野 一郎

講座の内容

ここ半世紀の間に英語学・言語学が蓄積した知識は膨大です。その中から、英語教育の場でも役立つと思われるものを、いくつかのテーマを選んで紹介します。

定員 20名

受講料 5,000円

プログラム 全5回

	月 日	テーマ
1.	8月30日(土)	英語学の分野、参考図書
2.	9月 6日(土)	音声学・音韻論から
3.	9月13日(土)	文法と意味
4.	9月20日(土)	文法(統語論)の規則
5.	9月27日(土)	言語学と脳科学

その他

資料はhandoutとして配布します。

期日 曜日 時間帯
8月11日～8月27日 月・火・水曜日 19:00～21:00

24. クラシック音楽への招待

ーオーケストラ音楽の楽しみ方ー

担当講師

農学部附属農場
栃木県交響楽団

高橋 行継
荻町 修

講座の内容

クラシック音楽は「学校で教わる音楽」イコール「勉強」というイメージがあるせいか、愛好者が少ない。講座ではオーケストラ音楽を取り上げ、前半はオーケストラを構成する楽器紹介、アマチュアオーケストラが演奏会を開くまでの過程や苦労話等を紹介する。講座後半はオーケストラ鑑賞のツボを紹介、クラシック音楽を身近に感じてもらう。

定 員 20名

受講料 5,000円

プログラム 全5回

月 日 テーマ

1. 8月11日(月)楽器紹介(木管楽器)、オーケストラの基礎知識
2. 8月18日(月)楽器紹介(金管楽器)、演奏会を開く(1)
3. 8月25日(月)楽器紹介(弦楽器)、演奏会を開く(2)
4. 8月26日(火)オーケストラの楽しみ方(1) 荻町・高橋
5. 8月27日(水)オーケストラの楽しみ方(1) 荻町 高橋

その他

会場

* 8月11日・18日・25日(月)

地域連携教育研究センター A講義室

* 8月26日(火)・27日(水)

宇都宮大学峰ヶ丘講堂

期日 曜日 時間帯
6月14日～ 2月28日 土曜日 14:00 ～ 16:00

25. フィットネスウォーキング

－楽しい健康・好縁づくり－

担当講師

ヨガインストラクター	遠藤 綾乃
ポールウォーキングコーチ	山形 正巳
理学療法士	秋田 聖司

講座の内容

ポールウォーキング・ヨガなどの運動を通じた楽しい健康・好縁づくり

- ・ウォーキングヨガを通じた健康づくり
- ・2本杖を使った効果的なポールウォーキングの基礎と実践
- ・理学療法士による運動のコツと健康づくり

定員 20名 受講料 10,000円 プログラム 全10回

月日	テーマ	講師
1. 6月14日(土)	効果的な運動方法とストレッチ	秋田
2. 7月12日(土)	ヨガの応用ウォーキングヨガ(学科)	遠藤
3. 8月9日(土)	ウォーキングヨガ実践編	遠藤
4. 9月13日(土)	2本杖ウォーキング基礎と実践	山形
5. 10月11日(土)	ポールウォーキングの運動機能改善	山形
6. 11月8日(土)	ウォーキング障害の予防と処置・実践	山形
7. 12月13日(土)	ウォーキング後ヨガで体ケア	遠藤
8. 1月10日(土)	ウォーキングを楽しむためのヨガ	遠藤
9. 2月14日(土)	ウォーキング地域活動と健康作り	山形
10. 2月28日(土)	膝・腰の痛みを予防する運動とケア方法	秋田

会場： * UUプラザ と 大学構内（遊歩道など）

* 6/14 は地域連携医教育研究センター

費用：2,3,7,8回目 ヨガマットレンタル100円/1回

：4,5,6,9回目 専用2本杖ポールレンタル代：500円/1回

○実技がある日は動きやすい服装でおこしてください。

○飲み物やタオルなどご用意ください。

期日
7月5日～8月23日

曜日
土曜日

時間帯
14:00～16:30

26. 基礎から学ぶ朗読講座

—心と心をつなぐ朗読—

担当講師

朗読家・和洋女子大学・東京アナウンス学院演劇講師

秋元 紀子

講座の内容

朗読のための発声と呼吸の方法を学び、より豊かな表現を目指します。朗読に関心のある方は、どなたでも。

定 員 15名

受講料 5,000円

プログラム 全4回

月 日

テーマ

1. 7月 5日(土) 声の仕組みと発声について
2. 7月26日(土) 読解力と表現力について
3. 8月 2日(土) 伝える意識と間について
4. 8月23日(土) 朗読の発表・講師朗読

その他

会 場： UUプラザ

○毎回簡単なストレッチと呼吸・発声をやりますので、動きやすい服装で、お越し下さい。

期日
10月8日～ 2月18日

曜日
水曜日

時間帯
13:30～15:30

27. グリムの昔話と日本の昔話を共に考える —故郷を考える—

担当講師

名誉教授

橋本 孝

講座の内容

グリムの昔話の影響を受けた日本の代表的な作家と日本の昔話をあげ、一緒に伝承文学と郷土を考えましょう。

定 員 20名

受講料 10,000円

プログラム 全10回

月 日

テーマ

1. 10月 8日(水) 昔話とは何か。グリム昔話の目指したもの
2. 10月15日(水) 栃木県の民話
3. 10月22日(水) 花巻と宮澤賢治
4. 10月29日(水) 宮澤賢治の童話
5. 11月 5日(水) 賢治にとって自然とは
6. 1月12日(水) 遠野市と佐々木喜善
7. 1月21日(水) 佐々木喜善とグリム童話
8. 1月28日(水) 佐々木喜善の昔話
9. 2月 4日(水) 柳田国男の業績
10. 2月18日(水) 民話と故郷

その他

テキストはコピーしたテキストを用います。参考文献は授業中にお知らせいたします。

期日
9月4日～10月2日

曜日
木曜日

時間帯
13:30～15:30

28. 民俗学からみた栃木Ⅴ

—信仰にみる下野人の心と暮らし—

担当講師

栃木くらし文化研究所代表

柏村 祐司

講座の内容

科学が未発達時代、ひとびとは様々な神仏を信仰し、行く末を神仏に託した。どうしてそのような信仰を取り入れたのか、ここでは信仰の由来、ならびに人々の暮らしと信仰とのかかわりをさぐろうとするものである。

定員 20名

受講料 5,000円

プログラム 全5回

月日

テーマ

1. 9月4日(木)「お地蔵様は、なぜムラの外れに祀られるのか」
2. 9月11日(木)「庚申の夜は、寝ないで過ごす
～庚申様の由来と様々な風習～」
3. 9月18日(木)「十九夜様に託した女たちの願い
～子授け・安産・子育て信仰～」
4. 9月25日(木)「一生に一度はしたいお伊勢参り
～伊勢道中日記から～」
5. 10月2日(木)「男体山は心のふるさと
～男体山登拝いま・むかし～」

期日 8月2日～12月6日 曜日 土曜日 時間帯 13:30～15:30

29. いのちをいただきます

—食と農の視点で、食卓から健康までを考える—

担当講師

宇都宮大学認定食農ファシリテーター 鈴木 知子
宇都宮大学認定食農ファシリテーター 和久井 隆

講座の内容

放射能汚染により、食と健康への関心が高まる中、自然農法による野菜の育て方から、個々の体質に合った食物の選び方、免疫力を上げる生活習慣、そして心の健康法まで幅広く学びます。

定員 15名

受講料 5,000円

プログラム 全5回

月日	テーマ	担当講師
1. 8月 2日 (土)	畑の放射能汚染と対策	和久井
2. 9月 6日 (土)	大きいことは良いことか?	和久井
3. 10月 4日 (土)	困難に打ち勝つ力	鈴木
4. 11月 1日 (土)	あなたの体質は?	和久井
5. 12月 6日 (土)	自然の力・信じる力	和久井

その他

○自然農法で育った旬の野菜を味付け無しで食べていただくと共に、毎回、野菜のお土産をお渡ししますので、5回分で材料費1,500円が必要です。第1回目に集めます。

期日 曜日 時間帯
5月31日～ 12月13日 土曜日 9:00～14:00

30. 里山で楽しむランブリング

—ぶらぶら歩きながら茂木の里山を撮り食べ語りあう—

コーディネーター

平井 雅世

担当講師

森林科学科

大久保 達弘

農業経済学科

原田 淳

たかばたけグリーンツーリズム協議会

虹色の里あじ彩協議会

ゆずの里かおり村

講座の内容

茂木町の里山を、ゆっくり歩きながら季節ごとの風景や自然を楽しみ、写真に撮り、地域ならではの食材を味わい、地元の方々と語りあう4回の日帰りツアーです。ぶらぶら歩きでは、「残したい栃木の棚田21」に認定された棚田等を散策する予定です。各自で撮った写真を茂木道の駅ギャラリーにて展示し、フォトコンテストを行います。里山の魅力を満喫できるプログラムです。

定員 15名 受講料 10,000円 プログラム 全4回

月日	テーマ	担当講師
1. 5月31日(土)	新茶摘み・新茶づくりと春の里山散策 (木幡、天子地区周辺)	大久保・原田・平井
2. 7月12日(土)	ピザ焼き・苔玉づくりと夏の里山散策 (川又地区周辺)	大久保・原田・平井
3. 11月15日(土)	ゆず狩り・ゆず味噌づくりと秋の里山散策 (山内地区周辺)	大久保・原田・平井
4. 12月13日(土)	茂木町長の講演(予定) 「私の里山」フォトコンテスト	大久保・原田・平井

その他

○交通手段は大学のバスを利用します。帰路は「道の駅もてぎ」に立ち寄ります。(大学正門 8:30 集合、8:40 出発です。時間厳守で出発いたします。)

○実費として、新茶摘みとお茶づくり(昼食代込 2000 円)、ピザ焼き(昼食代込 1000 円)、苔玉づくり(500 円)、ゆず狩りとゆず味噌づくり(昼食代込 1500 円)、保険料(908 円)が別途必要となります。(昼食は、地元産の食材を使用したお料理をいただきます。)新茶、苔玉、ゆず 1kg、ゆず味噌は、お持ち帰りいただけます。

○コンテストへの参加は自由です。画像処理はお手伝いいたします。

期日
9月24日～11月30日

曜日
水・日曜日

時間帯
9:30～13:30
19:00～21:00

宇都宮里山遊び達人協会との共催
31. 自然とともに

担当講師

宇都宮里山遊び達人協会会長

和氣 博之

講座の内容

自然は時に厳しく、そして優しく私達を包んでくれます。そんな自然に抱かれて私達は生きています。本講座はそんな自然を意識し、感じるにより、改めて自然の魅力を再発見するものです。

定 員 10名

受 講 料 5,000円

プログラム 全3回

月 日	テーマ
1. 9月24日 (水)	自然の中で遊ぶ術を知ろう 19:00～21:00 (宇大、座学)
2. 9月28日 (日)	実りの秋を体験しよう 9:30～13:30 (野外、大学バス利用)
3. 11月30日 (日)	冬を楽しもう 9:30～13:30 (野外、大学バス利用)

そ の 他

- 実費として3回で1,000円と傷害保険料454円が必要です。
- ご家族内で中学生までは無料で参加できます。(お子様も傷害保険は加入していただきます。)
- 2・3回は野外での活動ができる服装をご用意下さい。
- 2・3回の昼食はすべて自分たちで作って食べます。お弁当はいりません。
- 2・3回は大学バスを利用します。正門案内所前9:20集合9:30出発です。
- 詳細は申込後にご案内致します。

期日
10月1日～10月29日

曜日
水曜日

時間帯
10:00～12:00

32. 里山科学入門

－里山の地域資源と人びとの暮らし－

担当講師

地域連携教育研究センター教授 廣瀬 隆人
地域連携教育研究センター准教授 高橋 俊守

講座の内容

里山には豊かな地域資源が認められ、人々はその恩恵を受けながら暮らしと文化を築いてきました。この講座では、栃木の里山の現状と課題、里山再生の方策を考えてみます。

定 員 15名

受講料 5,000円

プログラム 全5回

	月 日	テーマ	
1.	10月 1日(水)	里山の成り立ちと地域資源	高橋
2.	10月 8日(水)	里山の恵みと人々の暮らし	高橋
3.	10月15日(水)	里山の課題と対応の現状	高橋
4.	10月22日(水)	里山の地域資源活用の展望	高橋
5.	10月29日(水)	地域連携による里山の再生	廣瀬

期日
8月1日～10月10日

曜日
金曜日

時間帯
10:00～12:00
9:00～13:00

33. 里山の資源と利用

—里山で育てる野菜と野生きのこ—

担当講師

地域連携教育研究センター准教授 高橋 俊守
元栃木県立高等学校教諭・農学博士 横田 一郎

講座の内容

里山の地域資源と利用について考えるシリーズ講座です。今回は、里山の資源を活かした土と野菜作り、野生きのこの見つけ方や育て方を現地演習をしながら学びます。

定 員 15名

受講料 5,000円

プログラム 全3日

- | | 月 日 | テーマ |
|----|-----------|--|
| 1. | 8月 1日(金) | 里山の地域資源と利用 高橋 (2時間) |
| 2. | 8月 8日(金) | 里山で見つける育てるおいしい作物
横田・高橋(9:00-13:00/4時間) |
| 3. | 10月10日(金) | 里山で見つける育てるおいしい野生きのこ
横田・高橋(9:00-13:00/4時間) |

その他

○8月1日(10:00-12:00)の講義はガイダンスも含んでいますので、必ず参加して下さい。

○8月8日、10月10日は現地で農作業ができる服装で参加して下さい。8時30分宇都宮大学峰キャンパス正門前に集合し、大学バスで現地訪問します。また、別途、傷害保険454円に加入していただきます。

期日	曜日	時間帯
6月7日～7月26日	土曜日	10:30～15:30 10:30～12:30

公益社団法人 日本動物福祉協会栃木支部との共催

34. 人間と動物の共生を考える

担当講師

教育学部准教授	川島 芳昭
獣医師	増田 国充
日本動物福祉協会獣医師調査員	山口 千津子
弁護士・ペット法学会会員	細川 敦史
A E R A 記者	太田 匡彦
日本動物福祉協会栃木支部長	川崎 亜希子
三東CS&With代表	館山 和枝
地域連携教育研究センター特任研究員	桑島 英理佳
宇都宮市保健所職員	
栃木県動物愛護指導センター職員	

講座の内容

犬 1055 頭、猫 1538 頭 これは、栃木県内で 1 年間で殺処分された“いのち”の数です（平成 24 年度）。この講座では、犬や猫などの動物と人間が共生できる地域づくりについて考えます。

定 員 15 名
受 講 料 5,000 円
プログラム 全 5 回

月 日	テーマ	講師
1. 6月 7日(土)	動物が持つパワーを探る	川島
2. 6月14日(土)	動物福祉活動について	増田・山口
3. 7月12日(土)	動物愛護法改正について 栃木県における動物の現状	
4. "	動物専門家による何でもフォーラム 細川・太田・山口・川崎・桑島	
5. 7月26日(土)	人間と動物の共生を目指した活動 ワークショップ「人間と動物が共生できる地域づくり」 館山・川崎・桑島	館山

その他

- 7月12日(土)のみ 10:30～15:30 の 4 時間です。
- 会場：第 1 回目、6月7日(土)は UU プラザです。
第 2 回目以降は地域連携教育研究センター A 講義室です。

期日
6月7日～6月14日

曜日
土曜日

時間帯
10:00～17:00

(一般社団法人) 鳥獣管理技術協会との共催

35. ①鳥獣管理士養成講座

－鳥獣管理の基礎－

担当講師

雑草と里山の科学教育研究センター教授	小金澤 正昭
地域連携教育研究センター准教授	高橋 俊守
鳥獣管理技術協会理事	辻岡 幹夫
鳥獣管理士	高橋 則夫

講座の内容

農作物や森林被害、生活安全など、全国各地で深刻化しつつある、人と野生鳥獣の軋轢問題を解消するために必要な知識と技術を座学と現地学ぶ講座の基礎編です。

定 員 20名

受講料 5,000円

プログラム 全4回

	月 日	テーマ	
1.	6月 7日(土)	野生鳥獣管理の基本	小金澤
2.	〃	自治体による鳥獣対策の現状と課題	辻岡
3.	〃	鳥獣管理と地域連携	高橋(俊)
4.	6月14日(土)	鳥獣被害の現場(学外)	高橋(則)

その他

○地域の鳥獣被害を自治体や専門家らと連携して解決する「鳥獣管理士」を目指す方を養成する講座です。関連する講座を受講して修了すると、一般社団法人鳥獣技術協会が実施する鳥獣管理士資格認定試験の受験資格が得られます。

○講義資料は、講義の時に配布します。参考資料は、適宜、講義の時に紹介します。

○基礎編は、講義と学外学習から構成されています。講義、学外学習ともに午前10時から午後5時までです。

○学外学習では、別途、傷害保険料227円をご負担いただきます。

2. 基盤教育特別公開講座

講座の内容

宇都宮大学基盤教育センターでは、本学の正規授業として開講している基盤教育科目の一部を、学外の方々に特別に無料で公開します。基盤教育科目とは、これまで一般的に「一般教育」あるいは「教養教育」と呼ばれてきた授業群を基に、それらを発展的に再編成することを旨とした呼び名です。

定員 20名程度 受講料 無料

※各講座毎にお申し込み下さい。

※日時・教室が変更になる場合がございます。どうぞご了承下さい。

1. 「より良く生きる」 14:30-16:00 (陽東:総合教育棟:212)		工学研究科
5月20日(火) 7月1日(火)	夢と、やりたいことと、現実と① 夢を見つける	上原 伸夫 大庭 享
2. 「危機を見つめる力」 10:30-12:00 (峰:5号館:ラーニング commons)		消費者庁消費者安全 調査委員会委員 他
5月23日(金) 6月27日(金) 7月4日(金) 7月5日(土)	身の回りの消費生活における様々な危険 -消費者庁、消費者委員会の取り組み- 安全問題とヒューマンファクター 危機と安全、安全の定義とリスク -絶対安全は存在しない、安心とは何か- 社会安全実現のためのリスクマネジメント	松岡 猛 垣本由紀子 向殿 政男 野口 和彦
3. 「障害者心理学」 10:30-12:00 (峰:5号館:1121)		教育学部
5月29日(木) 6月5日(木) 6月12日(木)	「LDとは」 「ADHDとは」 「ASD(自閉症スペクトラム障害)とは」	梅永 雄二
4. 「先輩に学ぶ」 8:50-10:20 (峰:4号館:1341)		宇都宮大学長
7月23日(水)	紆余曲折・たどりついた宇大発の新技術「磁気研磨」 ～磁石1個が切り開く身近なイノベーション～	進村 武男
5. 「ノーベル化学賞周辺の化学」 8:50-10:20 (峰:4号館:1254)		農学部
10月15日(水)	「2008年度受賞者 下村 脩教授の業績 オワンクラゲの緑色蛍光タンパク質」	横田 信三
6. 「身近な気象学」 8:50-10:20 (峰:農学部棟:3101)		農学部
1月19日(月) 1月26日(月)	地球温暖化はこうして起こる ～過去の学会論争～ 地球温暖化で生活や自然界、農業生産はもう変わりつつある	高橋 行継

国際学部・国際学 研究科

国立大学法人唯一の国際学部・国際学研究科では、国際的人材養成を目的とする教育を社会へ還元するために、公開講座や出張講義をとおして国際的な社会・文化事象に関する教育・研究成果をわかりやすく地域社会へ提供しています。

○ 国際学部出張講義

国際化社会における相互理解への関心を高めるため、栃木県内や県外の高等学校へ本学部教員が出向いて高校生に国際関係に関する講義を行っています。

○ 国際学部社会人入試選抜学生募集

広く社会人を学部学生として受け入れるため、小論文・英語読解・面接などによる特別選抜を実施しています。

○ 国際学研究科博士前期課程社会人特別選抜学生募集

企業、自治体等で活躍している方、国際交流・貢献活動経験者等のキャリア・アップを目指す方、社会貢献を考えている団塊の世代、主婦などの社会人を、大学院博士前期課程の学生として受け入れるために、口述試験等による特別選抜を実施しています。勤務条件や通学時間を考慮した授業時期や時間を設けて、夜間や土曜日等にも開講しています。

○ 教育訓練給付制度の講座指定（国際社会研究専攻・国際交流研究専攻）

国際学研究科国際社会研究専攻生及び国際交流研究専攻生で、雇用保険の被保険者または被保険者であった期間が3年以上の方（ただし、初回に限り、1年以上の者）は、博士前期課程修了後、大学に支払った経費の20%に相当する額（上限10万円）の支給を受けられます。これは、雇用保険の給付制度です。詳細はハローワークへお問い合わせ下さい。

○ 国際学部・国際学研究科講演会・シンポジウム

年数回、その時々に応じた講演題目で学生・教職員を対象に学外の多様な方の講演会等を開いています。一般の方も参加することができます。

○ 国際キャリア開発プログラム

国際分野の豊富な経験を有する講師を招き、国際的な仕事の意義や知識を考えるワークショップやディスカッションを取り入れた2泊3日の合宿形式の集中授業である「国際キャリア開発」及び「International Career Seminar」を実施しています。他大学や一般の方も参加することができます。

詳しくは、ホームページをご覧ください。

<http://www.kokusai.utsunomiya-u.ac.jp/career-program/index.html>

問い合わせ先（国際学部）

TEL : 028-649-5164 FAX : 028-649-5171

E-mail : kokosomu@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

[附属多文化公共圏センター]

附属多文化公共圏センターは、地域社会や自治体・市民団体などと協力して外国人やそのコミュニティと関連する問題の解決に貢献していくことを目的としています。

本センターでは、毎年グローバル教育セミナーや国際連携シンポジウム、連続市民講座などを実施している他、国際交流協会との交流事業も行っています。(第5回グローバル教育セミナー「子どもの貧困とグローバル教育」、宇都宮大学生国際連携シンポジウム2013「ASEAN から相互理解・相互協力を学ぶ～日本の進むべき道を考える～」)

イベントの詳細については、随時ホームページにてご案内していますのでご覧下さい。

その他、次のようなプロジェクトも実施しています。

○福島乳幼児妊産婦支援プロジェクト (FSP)

栃木県に避難している乳幼児・妊産婦世帯等、栃木県北の未就学児世帯のニーズを、アンケート等を通して把握

上記の方々の状況について、複数回の報告会や要望書の提出を通して社会へ発信

姉妹プロジェクト福島乳幼児妊産婦ニーズ対応プロジェクト (FnnnP) 栃木、及び学生ボランティア FnnnP Jr.企画の避難者交流会に協力。

○地域連携活動事業

地域の振興に寄与することを目的とし、地域に根付いたテーマでシンポジウムとスタディーツアーを開催しました。(2012年日光研究プロジェクト、2013年田中正造没後100年記念「田中正造とアジア」)

問い合わせ先 (附属多文化公共圏センター)

TEL/FAX : 028-649-5228

E-mail : tabunka-c@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

http://cmps.utsunomiya-u.ac.jp/

[宇都宮大学HANDSプロジェクト]

文科省の特別経費プロジェクトとして、国際学部附属多文化公共圏センターと教育学部附属教育実践総合センターが連携して「グローバル化社会に対応する人材養成と地域貢献」に関する研究活動が始まりました。このプロジェクトは主に県内の外国人児童生徒教育環境の研究および支援活動をしています。

○学校現場、教育委員会、大学との直接的な連携

- ・年に3回、栃木県教育委員会、外国人児童生徒在籍数の多い地域の教育委員会、管轄小中学校校長と「外国人児童生徒・グローバル教育推進協議会」を開催しています。
- ・年に3回、外国人児童生徒教育拠点校の担当教諭を集め、「外国人児童生徒支援会議」を行っています。また、専用HP (だいじょうぶ net.) を立ち上げています。県内すべての教員ネットワークを構築しています。
- ・外国人児童生徒に対する教育補助として、本学から小中学校へ学生ボランティアを派遣しています。

○多言語による高校進学ガイダンス

- ・日本語がよく理解できない児童生徒や保護者を対象に、翻訳資料と通訳者を介して、日本の学校教育制度や高校進学に関する基本的な情報を提供する進学ガイダンスを開催しています。

○人材養成

・教育学部と連携して、授業科目「グローバル化と外国人児童生徒教育」を開講しています。

問い合わせ先（宇都宮大学HANDSプロジェクト事務局）

TEL:028-649-5196 FAX:028-649-5228

E-mail: tabunka-c@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

だいじょうぶnet.: <http://www.djb.utsunomiya-u.ac.jp/>

教育学部・教育学研究科

○フレンドシップ事業（児童・生徒）

学生と子どもたちが直接ふれあい、体験を通して実践的に学ぶ機会を提供しています。科学実験、野外教育（4泊5日の集中授業の中で後半3日間、宇都宮市冒険活動センター主催の「冒険キャンプ」と合流し、参加小中学生とともに指導員の下で活動）、環境教育、宇都宮大学近隣小学校での地域行事等にて造形教育を行っています。また、小・中学校教員や指導主事、教育現場経験のある大学教員の講演・シンポジウムや教育映画の上映も行うこともあります。

○授業見学（高校生及び保護者）

高校生に教育学部をよりよく知ってもらうために学部の授業見学を秋に開催しています。また、教育学部の紹介・進学説明会は高等学校からキャンパスに来ていただいておりますが、大学教員が、高等学校に出向いて実施することもできます。

○大学院教育学研究科授業の夜間・休日等開講

大学院教育学研究科では、現職教員や社会人の専修免許状取得や自主的な研修に役立てるため、多数の授業科目を夜間、土・日曜日、長期休業期間に開講しています。特に、カリキュラム開発専攻と特別支援教育専攻は、夜間、休日等の授業を履修することによって、勤務を続けながら修了することが可能です。

問い合わせ先（教育学部）

TEL: 028-649-5242 FAX: 028-649-5244

E-mail: kyisomu@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

[附属教育実践総合センター]

○地域や学校に対する支援

★教育工学部門：教育の情報化に関する支援

ICTを活用した授業改善、ソフトウェア教材の作成、電子黒板やe-Learningを活用した授業支援など、学校教育における情報化の支援を行っています。

問い合わせ先（附属教育実践総合センター教育工学部門）

TEL: 028-649-5388 FAX: 028-635-0652

E-mail: koukai@jissen3.mine.utsunomiya-u.ac.jp

[附属幼稚園]

○公開研究会（教育関係者・学生）

教育改革の大きなうねりの中、幼児教育への課題は山積しています。カリキュラムの検討、指導法の工夫、教師の資質向上等をめざし、開催しています。本園の研究および保育を公開するとともに、

幼児期の教育に関する様々な課題について協議していくことを目的としています。本年度は、11月中旬の開催です。

○ 保育を語る会（教育関係者・学生・一般）

年間3～5回、地域の幼稚園、保育所、小・中・高・特別支援学校の教員が問題提起や事例発表をしながら保育現場での様々な問題について協議を深めていきます。大学の教員をはじめ保育士養成学校の教員、臨床心理士等、地域社会に広く参加者を募っています。一部は栃木県幼稚園連合会と共催で実施しています。

○ オープンキャンパス（入園を希望する保護者・一般）

毎年10月中旬～11月上旬の2日間、本園に入園を希望する幼児とその保護者を対象に開催しています。保育参観、施設設備の参観、教育方針および教育内容に関する説明等、附属幼稚園の概要について理解を得ることを目的としています。

問い合わせ先（附属幼稚園）

TEL : 028-622-9051 FAX : 028-625-8016
E-mail : fuyo@cc.utsunomiya-u.ac.jp

[附属小学校]

○ 初等教育公開研究発表会（教育関係者・学生）

教育の理論や実際についての研究の成果を、毎年6月上旬の3日間にわたり公開しています。内容としては、国語、社会、算数、理科、音楽、図画工作、家庭、体育、生活、道徳、英語の時間、総合の時間、特別活動の公開授業、およびその研究協議、講演会、パネルディスカッションとなります。県内の教員や学生はもとより、全国から教育関係者を招き、指導法の工夫や教育の今日的課題について協議するとともに、新しい小学校教育のあり方を提案しています。

○ オープンキャンパス（入学を希望する保護者・一般）

毎年11月下旬～12月上旬の1日間、本校に入学を希望する子どもとその保護者を対象に行っています。本校の教育方針や教育内容、受検に際しての留意事項等について説明するとともに、授業や施設・設備等を自由に参観していただくことをとおして、普段の附属小学校の様子を紹介しています。

問い合わせ先（附属小学校）

TEL : 028-621-2291 FAX : 028-625-8015
E-mail : ichigo@cc.utsunomiya-u.ac.jp

[附属中学校]

○ 教員研修会（教育関係者）

11月下旬、県内外の教員が自分の課題をもち、本校教員とともに研修し課題解決の一助とし、教職に関する資質の向上を図ることを目的として、宇都宮大学教育学部の教員を交え、ディスカッション等を実施しています。

研修実施教科：国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭、外国語（英語）

○ 公開研究発表会（教育関係者・学生）

毎年6月下旬、教育学部と連携して、公開授業を通して新しい中学校教育の在り方の提案を行います。

○ 中高連携のための授業公開（高等学校教員）

高等学校教員を対象に、事前連絡をいただいた上で、随時授業公開をしています。

- 入試に関わる学校見学（受験を希望する児童・保護者）
毎年10月下旬～11月末、本校の設定日にご予約をいただいた上で、希望者に子供たちの普段の学校生活を公開しています。

問い合わせ先（附属中学校）

TEL : 028-621-2555 FAX : 028-625-2781
E-mail : jhs@cc.utsunomiya-u.ac.jp

〔附属特別支援学校〕

- オープンキャンパス（幼児児童生徒・保護者・一般）

特別支援学校に入学を希望している幼児児童生徒、その保護者、担任等に対して、本校の教育について理解していただくための情報提供の場としています。その内容は、本校概要の説明授業参観、施設設備の見学などです。なお、本校の教育に関心のある方の参加も受け付けています。本年度は、7月10日（木）、9月4日（木）に開催を予定しています。

- 特別支援教育担当者研修会（特別支援教育の担当者）

特別な支援を必要とする幼児児童生徒の担当者の方を対象に研究会を行っています。内容は講師の先生を招いての講演や実技指導、指導上の課題についての質疑応答などです。

- 公開研究会（教育関係者・福祉関係者・行政関係者・学生）

平成27年2月20日（金）にキャリア教育の視点を取り入れた学校作りについて、校舎改修後の新校舎にて発表を行います。

問い合わせ先（附属特別支援学校）

TEL : 028-621-3871 FAX : 028-627-4561
E-mail : yougo@ks001.kj.utsunomiya-u.ac.jp

工 学 部 ・ 工 学 研 究 科

- スーパー・サイエンス・ハイスクール(SSH)及びサイエンス・パートナーシップ・プロジェクト(SPP)（高校生）

文部科学省が開始した事業であり、その趣旨に沿い、高校と連携しながら教育・研究施設の開放、講座の開講、研究指導などを行っています。

- 出張講義・高校訪問（高校生・高校教員）

高校生や高校の先生方に対して、本学工学部の紹介に加えて、「工学とは何か」、「大学の工学部へ進学するということは」などについても広く紹介する活動を行っています。

- 工学部体験教室（小学生～高校生）

一日から数日、実験や授業をとおして身近に工学に触れることによる知的啓発を進めています。

- 産学官連携経営工学講座（学生・一般市民）

地域を活性化する経営センスを有する人材育成を目標として、栃木県内の他大学及び経済同友会、商工会議所連合会との連携を組大学院講義として開講していますが、一般社会人の受講も広く受け入れています。

○ 産学連携セミナー・シンポジウム（一般市民）

地域共生研究開発センターなどとの共催で産学の連携の積極的推進を図るためのシンポジウムを開催しています。

○ 最先端技術特別講演会（学生・教職員・一般市民）

情報工学分野を中心とした最先端技術を、外部の著名な方々を講師に招いて、分かりやすく解説します。

○ さくらフェスタ（一般市民）

4月初旬の満開の桜のなか、地域の方々に、工学部・工学研究科の活動や研究内容を親しみやすく紹介しています。花見がてら、親しんでいただける企画です。

問い合わせ先（工学部）

TEL : 028-689-6005 FAX : 028-689-6009

E-mail : kousomu@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

農 学 部

○ 農学部出張講義

宇都宮大学農学部における教育・研究への関心及び「農」に関する知識をより深めてもらうため、本学部教員が高等学校へ出向き生の講義をお伝えしています。

○ 農学部シンポジウム

年数回、学生や教職員、学外者を対象として、様々な分野の国及び国際シンポジウムを開催しています。

○ アグリカレッジ

栃木県内の農業関係高校と宇都宮大学農学部の高大連携事業の一環で、農学に対する向学心を深めるために、「農業を科学する」をメインテーマとして毎年開講します。

○ スーパーサイエンスハイスクール(SSH)及びサイエンス・パートナーシップ・プログラム(SPP)

県内外の高校がSSHやSPPを申請する際に農学部および関連施設の教員支援し、講座を開講し、また学内のさまざまな施設の見学を実施します。

○ アグリ支援機構

地域貢献の推進を図るため、平成16年4月より発足した組織です。日常にある「農」に関する質問や講演・技術指導および受託研究や共同研究のご相談などをお受けしています。

詳しくは、下記URLをご覧ください。

アグリ支援機構HP

<http://agri.mine.utsunomiya-u.ac.jp/agri/index.html>

問い合わせ先（農学部）

TEL : 028-649-5398 FAX : 028-649-5401

E-mail : nousomu@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

<http://agri.mine.utsunomiya-u.ac.jp/>

〔附属農場〕

○ 「お米と果物とミルクの不思議体験教室」（小学生と保護者）

「お米と果物コース」は、春から秋にかけて5～6回のシリーズ

で実施しており、季節の変化に伴う生育過程の観察や田植え、摘果さらに収穫・試食までの実体験をします。「ミルクコース」では牛の乳搾りや給餌、羊の毛刈りなどを体験できます。

○「バイオテクノロジー体験教室－クローン牛誕生の秘密に迫る！」 (中学生と教諭)

実験室ではウシの体外授精やクローン胚作出実験を、牛舎ではウシ受精卵の親牛の子宮への移植や子宮内の胎子の様子の観察などを体験します。

○ オープンエコファーム(開放農園)事業(一般市民等)

有機栽培に興味があり取組もうとする一般市民等に対して、野菜畑作物等の有機農業を実践・実習してもらうとともに指導も行います。

○ 小・中学校教員のための園芸技術講習会

学校の花壇や空き空間を生かした植物栽培の基礎知識やノウハウの伝授、さらにはコンサルティングまで、現場教員の皆さんの広い要望に対応しています。

問い合わせ先(附属農場)

TEL : 0285-84-2424 FAX : 0285-84-2425

E-mail : fuznoujy@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

[附属演習林]

○「おいでよ!森のがっこうへ」(大学の森をたんけんしよう!)(小学生と保護者)

夏休みに1泊2日で実施しており、森林(里山)における動植物観察、林業体験をとおして自然との触れ合い体験ができます。

問い合わせ先(附属演習林)

TEL : 0287-47-0057 FAX : 0287-47-0366

E-mail : fuzensyu@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

雑草科学研究センター

本研究センターは、人間生活環境を構成している農耕地や森林および生活環境空間の雑草のリスク予測・評価・回避に関する先端的な基礎および応用研究を通して、自然と人類の共生社会の創造および食糧と環境に関する問題の解決に寄与することを目的としています。

本研究センターでは次のような公開セミナー、シンポジウムなどを不定期に実施していますので随時ホームページのお知らせをご覧ください。

○ 公開セミナー(学生・一般市民)

センター教員、客員教員や国内外の著名な研究者を講師として、雑草科学や都市緑化、生活環境の修復・保全に関連した内容で不定期実施しています。

○ シンポジウム(企業人・一般市民)

著名な国内外の研究者を招へいし、植生マネジメントに関するシンポジウムを開催しています。

○ センターの一般公開（高校生・教員・一般市民）

大学のオープンキャンパス時にセンター研究棟、温室等の施設見学とともに研究内容の紹介を行っています。同時に一般市民も対象にしていますので強害雑草や寄生雑草、住居環境の緑化に役立つ植物の展示を行って雑草が私たちの生活にどのような影響を与えているのかわかりやすく説明します。当日は「雑草何でも相談室」を設けて雑草に関わる相談に応じています。

オープンキャンパス時以外でも施設見学や雑草に関する相談を随時受け付けておりますので、ご希望の方は事前にご連絡下さい。

問い合わせ先（雑草科学研究センター）

TEL : 028-649-5148 FAX : 028-649-5155

<http://wsc.mine.utsunomiya-u.ac.jp/>

バイオサイエンス教育研究センター

当センターは、学内的にはバイオサイエンスの教育と学術の発展に貢献し、研究支援を通しての人材育成を目指しています。また学外には、農学部および工学部を有する本学の特色を生かし、地域と連携したバイオサイエンス研究やバイオテクノロジーの啓発、および応用研究の中核として新たな領域を開拓することを目的としています。これらの目的を達成するために、以下のような公開講座を開講しています。

○ センターセミナー（学生・教員・一般）

バイオサイエンス分野の研究者を学内外から招聘して、研究内容や成果を紹介してもらうセミナーです。

○ バイオテクノロジー体験講座（高校生・教員・一般）

毎年夏休みに高校生を主な対象として開講しています。「DNAとはなにか？」という基本的な講義や「お米のDNA鑑定」など実際にDNAを扱う実験を体験できます。

○ 高大連携講座（高校生）

科学技術振興機構の科学技術理解増進事業の支援を受けたSSHやSPPを県内の各高等学校と連携して、遺伝子実験講座を実施しています。

○ 科学実験講座（小学生・中学生・一般）

主に植物を対象とした実験を体験してもらうことで、植物の不思議に迫ります。

【放射性同位元素実験室】

放射性同位元素実験室は、放射性同位元素を利用したトレーサー実験等を行うことができる学内共同利用施設として整備運用されています。

○ 教育訓練（学生・教職員）

放射線を取扱うに当たっては、事前に教育訓練を受講するとともに、所定の健康診断を受診することが義務付けられています。本実験では本学の教職員及び学生を対象とした放射線障害を防止するための教育・訓練を毎年5月に行っています。

問い合わせ先（バイオサイエンス教育研究センター）
TEL : 028-649-5527 FAX : 028-649-8651
E-mail : c-bio@cc.utsunomiya-u.ac.jp
http://c-bio.mine.utsunomiya-u.ac.jp

総合メディア基盤センター

本センターでは、ICT分野における教育研究、及び研究開発を推進しております。また、国際規格であるISO/IEC 27001 認証を取得・維持しており、マネジメントシステムによるPDCA サイクルに基づいて、情報セキュリティに関する教育・啓発活動も行っています。

○ICTセミナー（企業人・学生）

ICT（情報通信技術）の最新動向や、情報セキュリティマネジメントについての講演会を開催しています。

問い合わせ先（総合メディア基盤センター）
TEL : 028-649-8620 FAX : 028-649-5439
E-mail : sec@cc.utsunomiya-u.ac.jp

地域共生研究開発センター

本センターは、民間機関、他大学等からの技術相談や学内研究者との間に実施される共同研究・受託研究、研究交流等を推進するとともに、総合的・先端的な研究開発を行い、これらの情報の発信による地域社会との連携や協力を実践する場としての役割を果たしております。また、企業人、一般市民を対象とした各種の研修会、講座、講演会などを通して科学・技術についての啓発活動に注力しています。

○分析機器開放

本センターの先端計測分析部門が保有する分析機器を一般企業の方々が気軽に利用しやすい料金で利用することができます。

○各種セミナー（企業人・一般市民）

現在の最先端の科学・技術や社会の出来事に関する話題を一流の講師陣を招聘し、楽しみながら学ぶ機会を提供しています。

○研究シーズ発表会（企業人・一般市民）

宇都宮大学の研究成果や新技術を広く発表し、成果の普及による実用化を図っています。

問い合わせ先（地域共生研究開発センター）
TEL : 028-689-6316 FAX : 028-689-6320
E-mail : chiiki@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

知的財産センター

本センターは、本学の研究成果や知的財産権の産業界への技術移

転推進や民間機関、他大学等からの特許相談を行うとともに、知財セミナー等を開催することにより、地域の知的財産意識の向上を図っています。(地域共生研究開発センターへの統合が予定されています。)

○ 知的財産セミナー（企業人・一般市民）

知的財産権の取得・活用等に関する講義や最新の動向について、弁理士などの知的財産の専門家がわかりやすく解説します。

○ 特許相談（企業人・一般人）

知的財産権に関するあらゆる相談に応じています。

問い合わせ先（知的財産センター）

TEL : 028-689-6324 FAX : 028-689-6327

E-mail : chizai@miya. jm. utsunomiya-u. ac. jp

附 属 図 書 館

附属図書館では、地域に開かれた知の拠点として、当館が所蔵する教育研究のために収集した貴重な学術情報資源を、地域の皆様の生涯学習を支援するために広く開放しています。学術や生涯学習に関わる調査・研究を目的として、資料閲覧を希望する方であればどなたでも利用できます。

○ 開館時間

平日 9:00～20:00（休業期間中は9:00～17:00）

土日祝 11:00～17:00

○ 休館日

年末年始、臨時休館日（工学部分館は日曜、祝日、振替休日、休業期間中の土曜日）

○ 利用手続き

入館の際、閲覧許可願にご記入をお願いします。入館システムが設置してありますので、その都度臨時の入館カードで入館していただきます。既に図書の貸出証をお持ちの方は、それが入館カードになります。

図書館で初めて図書を借りる時には、利用者登録申請が必要です。身分を証明できるもの（運転免許証等）をご持参ください。図書貸出証を発行します。

○ 利用の範囲

館内の資料閲覧、文献複写及び図書の館外貸出ができます。ただし、文献複写については、著作権法の範囲内をお願いします。

○ 図書の貸出条件

図書5冊、2週間まで借りることができます。

○ その他

利用に際しては、利用規程及び注意事項を遵守してください。ご不明な点があれば図書館職員にお尋ねください。

問い合わせ先（学術研究部学術情報課）

TEL : 028-649-5130 FAX : 028-649-5138

E-mail : tossoumu@miya. jm. utsunomiya-u. ac. jp

オプティクス教育研究センター

本センターは、我が国の光学技術をリードできる人材育成と研究領域の創成及び進展を目指し、オプティカルサイエンス及びテクノロジー分野における教育研究活動の推進に貢献します。

本センターでは次のような公開セミナーを不定期に実施していますので随時ホームページのお知らせをご覧ください。

○ オプティクス教育研究セミナー（学生・一般市民）

センター教員や国内外の著名な研究者を講師として、オプティクスに関連した講演会を不定期に開催しています。

○ 技術者と学生のためのオプティクス応用セミナー（企業人・学生）

光科学や光技術に関する講義や実習を不定期に実施しています。

○ センターの一般公開（高校生・教員・一般市民）

大学のオープンキャンパス時にセンター棟の施設見学とともに研究内容の紹介を行っています。

オープンキャンパス時以外でも施設見学や光に関する相談を随時受け付けておりますので、ご希望の方は事前にご連絡下さい。

問い合わせ先（オプティクス教育研究センター）

TEL : 028-689-7074 FAX : 028-689-7075

<http://www.opt.utsunomiya-u.ac.jp/>

U U プラザ

UUプラザは、教育研究情報の公開や最新の教育研究成果を発信して地域連携・貢献・協働を目指す場であるとともに、学生・教職員、同窓会、OB/OG、受験生とその保護者など地域の方々が多くコミュニケーションを図る場として、利用できます。

○ 開館時間

平日 9:00～17:00

○ インフォメーションフロア（1階）

パンフレットの配布・閲覧、教育研究成果の展示等を行っています。懇談スペースは、どなたでも自由にご利用いただけます。

○ コミュニティフロア（2階）

可動式の椅子・テーブル、プロジェクタを備えた多目的スペースです。利用予約が入っていない時間は、懇談スペースとしてご利用いただけます。

貸し切りでのご利用は、半日（4時間以内）6,400円、全日（4時間を超え8時間以内）12,800円が必要となります。（本学学生、教職員、同窓会及び近隣地区自治会は無料です。）

問い合わせ先（企画広報課）

TEL : 028-649-5007 FAX : 028-649-5026

E-mail : renkei2@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

事務局

○ オープンキャンパス

毎年夏と秋に、学部学科や各教育研究センター等の施設の紹介及び体験授業や研究室見学等を行うオープンキャンパスを開催しています。
(企画広報課)

○ 進学説明会・相談会 (随時)

高等学校等へ出張し、進学ガイダンスを行います。ご希望がありましたら下記までお問い合わせください。
(企画広報課)

○ 出前授業 (随時)

高等学校への出前授業を実施しています。調整に時間がかかる場合もありますので、計画等がありましたら、なるべくお早めにご相談ください。
(企画広報課)

○ 大学見学会 (随時)

高等学校生徒・教員 (団体・個人)、保護者の方、一般市民の方向けに、本学の学部・学科やその教育内容を紹介するとともに、附属図書館等の施設や構内を見学し、本学への理解を深めていただいています。
(企画広報課)

○ 科目等履修生制度

生涯学習の推進を図ることを目的とし、社会人等に対して学習機会を拡大する観点から設けられた制度です。特定の授業科目の履修を希望する方に対して、授業に支障のない範囲において選考の上、授業科目の履修を許可しています。また、特定の専門事項について研究指導を希望する場合には、研究生制度があります。
(修学支援課)

○ 大学祭 (峰ヶ丘祭)

毎年11月に、峰ヶ丘祭実行委員会 (学生団体) 主催による大学祭が実施され、本学の教育・研究、サークル活動などの各種の展示、研究発表、活動報告などを公開し、また、各種シンポジウム、模擬店、花火などを開催しています。
(学生支援課)

○ 社会人特別入試

一度社会に出て、専門分野の必要性から大学入学を希望する方、また生涯学習という観点から、定年を迎え再教育を受けて知識の習得を目指す方を受け入れる。
(入試課)

問い合わせ先

(企画広報課) TEL : 028-649-8649 FAX : 028-649-5026
E-mail : plan@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

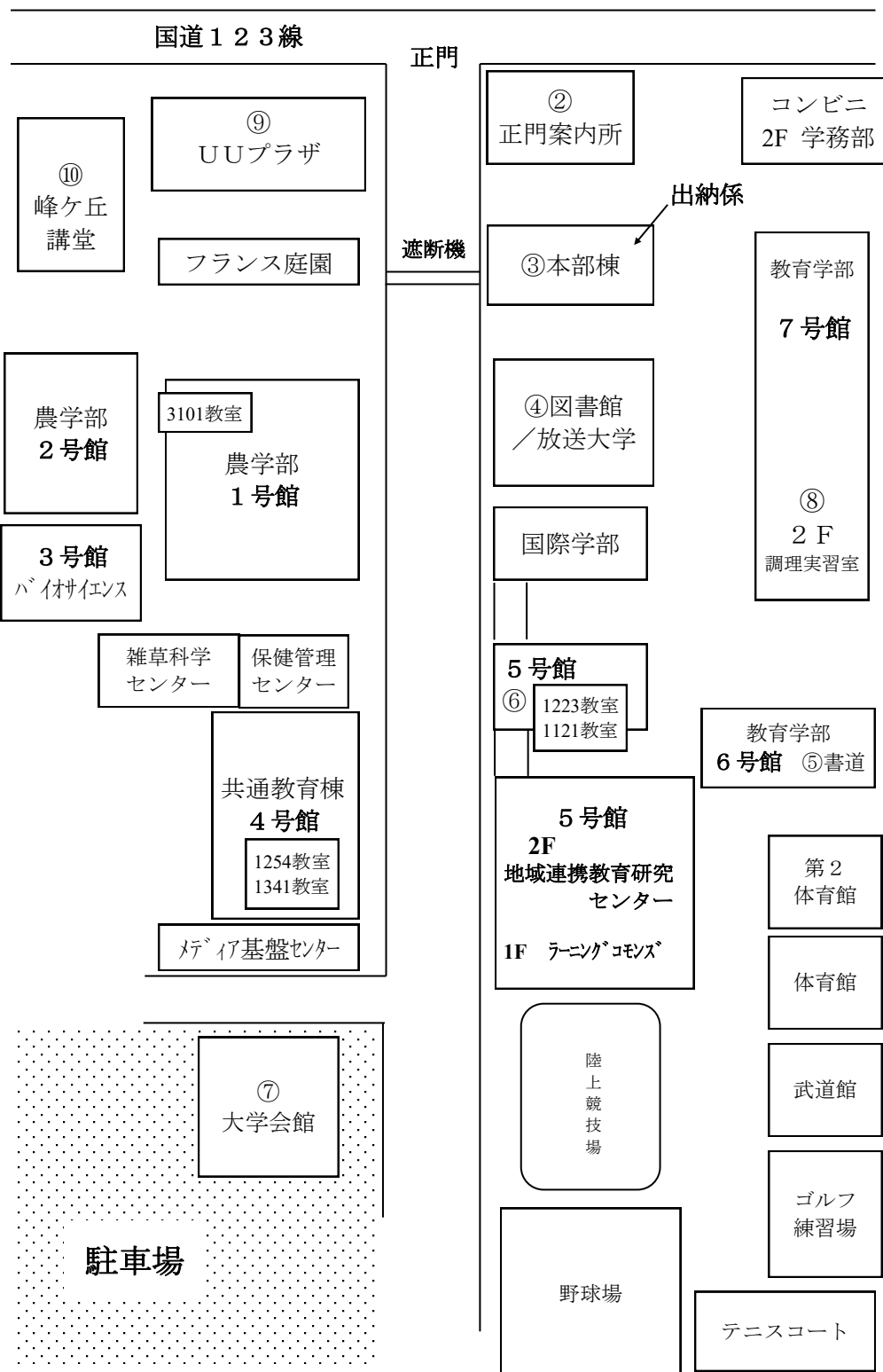
(修学支援課) TEL : 028-649-5090 FAX : 028-649-5095
E-mail : shu-nou@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

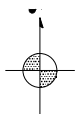
(学生支援課) TEL : 028-649-5097 FAX : 028-649-5115
E-mail : gakgakus@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

(入 試 課) TEL : 028-649-5112 FAX : 028-649-5113
E-mail : gaknyuu1@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

VII

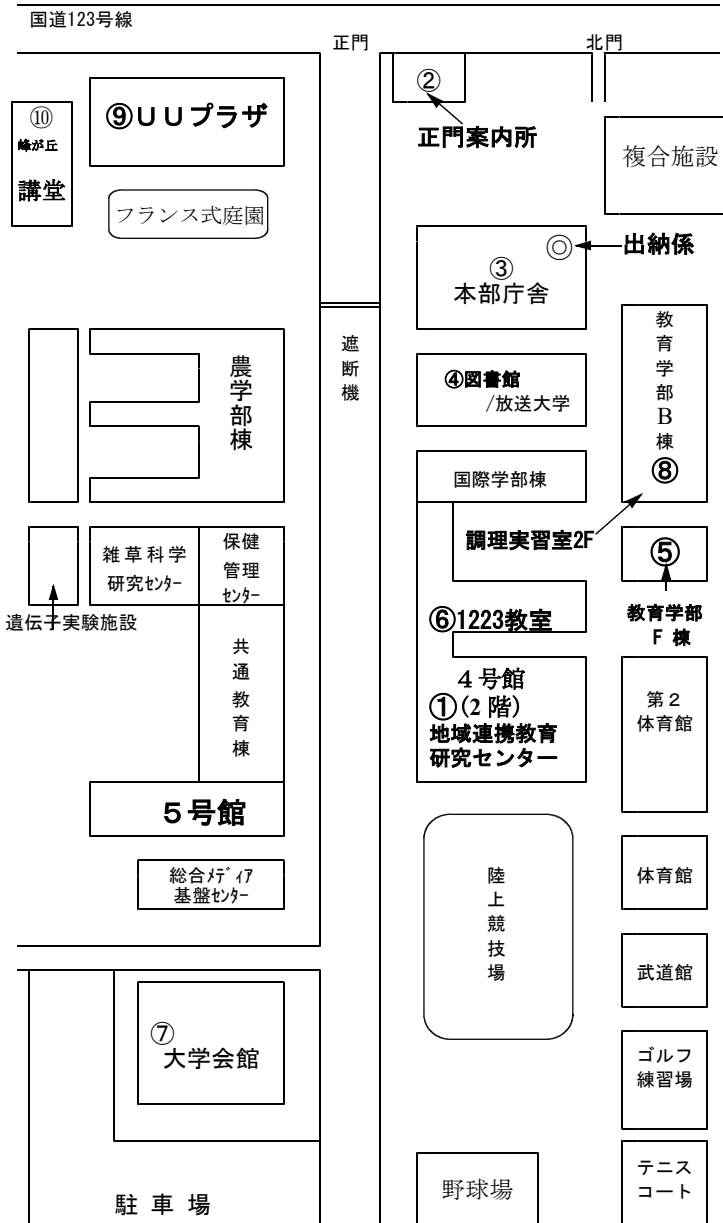
宇都宮大学校内建物配置図 (峰キャンパス)





VIII

構内建物配置図



- ①公開講座受付および実施会場
- ②車輻入構パスカード受取場所 (※1)
- ③公開講座受講料納入場所

(※1) センターで、入構許可証を発行します。
パスカードは毎回、正面案内所にて、受け取って下さい。

地域連携教育研究センター以外で 実施する講座の会場

- 「1. “いま”を読み解くチカラ」 ⑥峰町5号館 1223教室
- 「2. 女性の力を企業の力に！」 ⑥峰町5号館 1223教室
- 「5. 図書館の達人」 ④附属図書館
- 「8. 宇都宮城と蓮池」 ⑦大学会館2階
多目的ホール・トークルーム I
- 「9. 韓国料理入門」 「10. 韓国伝統料理」 「11. タイ料理」
⑧教育学部B棟2F 調理実習室
- 「15. 書道」 ⑤教育学部F棟 2F
- 「24. クラシック音楽への招待」 ⑩峰ガ丘講堂・他
- 「25. フィットネスウォーキング」 ⑨UUプラザ・他
- 「26. 基礎から学ぶ朗読講座」 ⑨UUプラザ

*上記以外で、宇都宮大学以外の施設を利用する講座につきましては、講座毎の案内をご覧ください。

*詳しくは、センターまでお問い合わせ下さい。

*諸般の事情により、会場が変更になる場合がございます。その場合は、該当の講座の受講者へ、センターより直接ご連絡致します。あらかじめご了承ください。

*車でお越しの受講者は必ず大学会館南側の駐車場に止めて下さい。
センター前の駐車場はご利用頂けません。